



M i a m i

MRTN - 90(120・150)HBATS

MRTN - 90(120・150)TNS

MRMN - 90(120・150)HBATS

MRMN - 90(120・150)TNS

取扱説明書

取付・設置説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又末永くお使いください。
- 取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要な時にお読みください。

本書の読みかた

本書は、次の 2 つの部分から構成されています。

■取扱説明書

(1～13ページ)

日常の取り扱いやお手入れのしかた、トラブル時の対応方法について説明しています。

もくじ

安全上のご注意	2
各部の名称	4
使いかた	
耐荷重と収納のしかた	5
棚板の位置を変えるときは	5
スライドボードの取り外し、取り付け	6
内装引出しの取り外し、取り付け	6
引き戸の取り外し	7
引き戸の上下方向調整	9
内装引出し前板の調整	10
スライドボードについて	11
その他のご注意など	11
お手入れ	12
アフターサービス	13
ご相談窓口におけるお客様の	
個人情報のお取り扱いについて	13
ホルムアルデヒド発散区分	13
VOC放散性能	13

■取付・設置説明書

(15～55ページ)

取付・設置を行う方のための説明書です。
移設する場合などに必要となります。

もくじ

安全上のご注意	16
取付・設置前の確認	17
製品寸法図	18
部品の一覧	20
取付・設置上のご注意	22
取付・設置方法	
下段ユニットの設置、固定	23
上段ユニットの準備	34
上段ユニットの設置、固定	35
ユニットの壁面固定	37
スリット化粧板の取り付け	38
サイドパネルの取り付け	42
薄型フィラーの取り付け	43
サイドレールの取り付け	44
引き戸の取り付け	45
下レールの取り付け	47
引き戸の上下方向調整	49
引き戸の前後方向調整	50
ストッパーの取り付け	51
内装パーツの取り付け	52
内装引出し前板の調整	54
取付・設置後の確認	55
取付・設置後の点検・清掃	55
ホルムアルデヒド発散区分	55
VOC放散性能	55

取扱説明書

日常の取り扱いやお手入れのしかた、トラブル時の対応方法について説明しています。
いつでも見られる場所に保管し、必要なときにお読みください。

お客様へのお願い



- この取扱説明書に記載されている以外の箇所を分解・改造しないでください。
- この取扱説明書をよくお読みになって、正しく、また末永くお使いください。
- 移設などで分解するときは、必ず専門業者に依頼してください。

安全上のご注意



必ずお守りください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



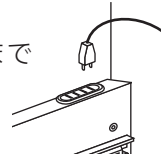

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

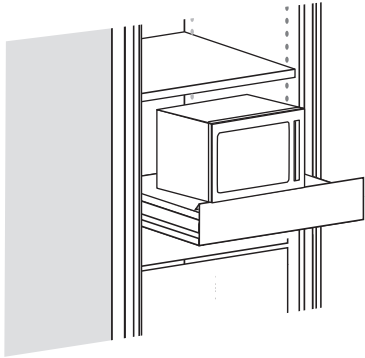
	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

 **警告**

<div>分解・修理・改造は絶対にしないでください。</div> <div> 分解禁止</div> <div>感電、発火、ケガ、異常動作の原因になります。 故障と思われた時は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社にご連絡ください。</div>	<div>スライドコンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わないでください。</div> <div> 1200W まで </div> <div>発熱により、火災の原因になることがあります。</div>
	<div>スライドコンセントに水をかけないでください。</div> <div></div> <div>感電や火災の原因になることがあります。</div>

⚠ 注意

家電製品を使用する時は、必ずスライドボードを一杯まで引出して、安定した状態で使用してください。



家電製品を使用した後で収納庫内に収納する場合は、家電製品が室温レベルに下がるまで待つてから、収納してください。オーブンレンジ、炊飯器、電気ポット、オーブントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、ユニットの変形及び破損の原因になります。また、水蒸気が家電製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。

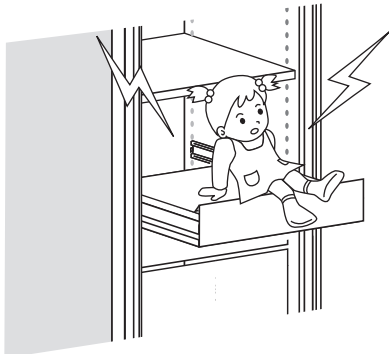
なお、オーブンレンジ等を収納する場合は、壁に接する事がない様スライドボードの中央に配置してください。過熱、火災の原因になります。

引き戸の開閉は、必ず引手を持って、静かに行ってください。



指等をはさんだり、思わぬケガをする恐れがあります。

内装引出し、スライドボードにぶら下がったり、体重をかけたりしないでください。



ケガや破損の恐れがあります。

内装引出し、スライドボードを開ける際は、引き戸が確実に開いていることを確認してください。また、引き戸を閉める際は、内装引出し、スライドボードが確実に閉まっていることを確認してください。



引き戸に内装引出し、スライドボードが当たって、ケガや破損の恐れがあります。

引き戸に強い衝撃を与えないでください。



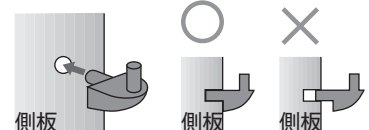
ガラスや鏡が割れて、ケガをする恐れがあります。

棚板、内装引出し、スライドボードには指定の荷重以上のせないでください。



のせているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

棚受け（ダボ）は確実に奥まで差し込んでください。



棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

濡れた手でコンセントにさわらないでください。

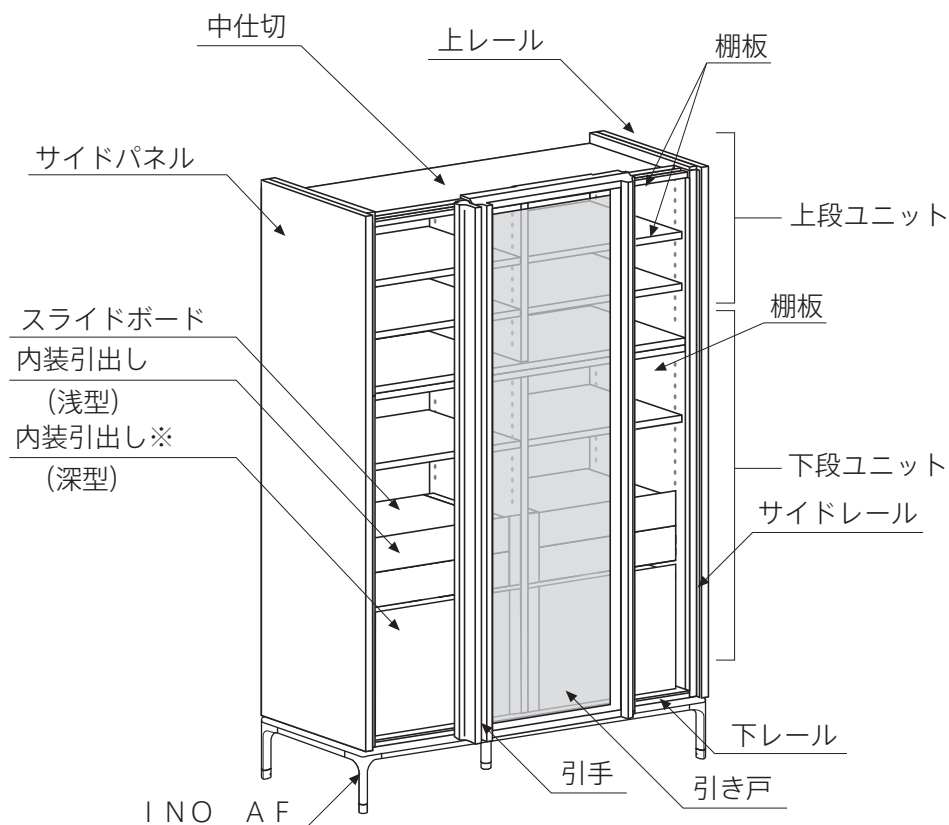


感電する恐れがあります。

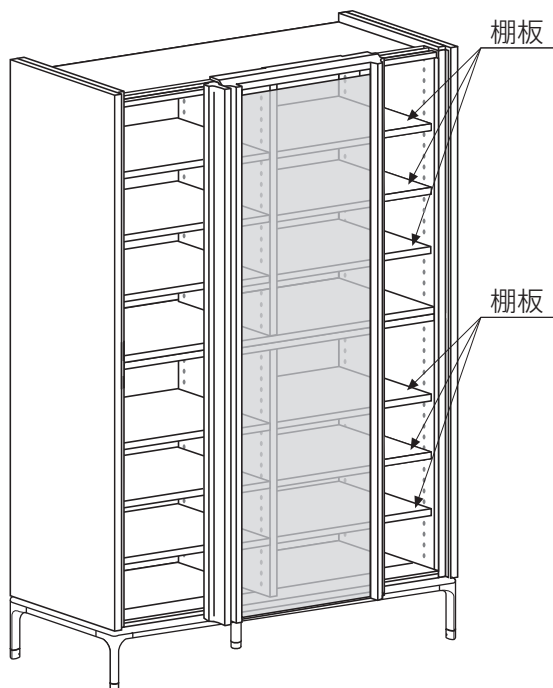
各部の名称

家電収納タイプ

※MRTN-90(120・150)HBATSの場合、棚板2段になります。



棚板タイプ



※イラストはSタイプを示す。

使いかた

耐荷重と収納のしかた

■耐荷重

棚板

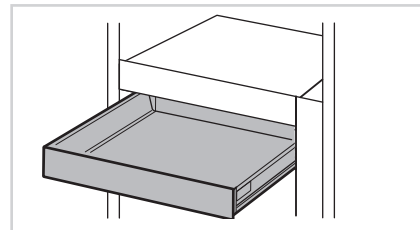
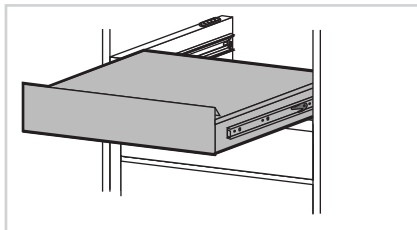
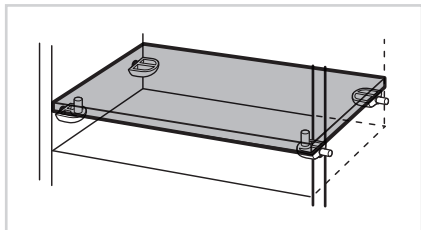
間口900mm

間口1200・1500mm

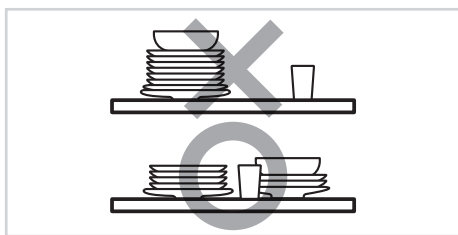
30kg
15kg

スライドボード 35kg

内装引出し 15kg



※5kg…直径 20cm のお皿 15 枚程度を目安にしてください。



■収納のしかた

収納物は均等にのせてください。

重いものを偏った位置にのせないでください。

棚板の位置を変えるときは

収納するものに合わせて棚板の位置を変えることができます。

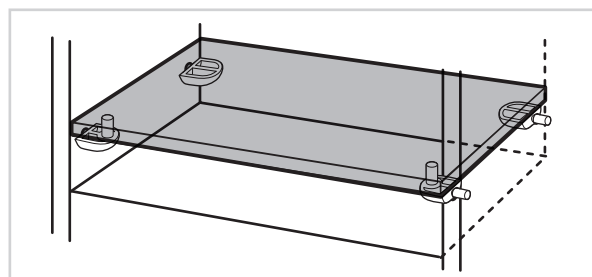
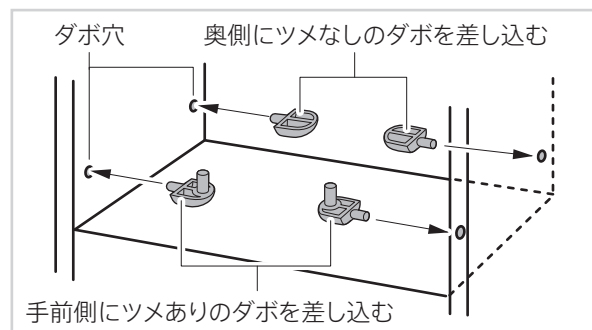
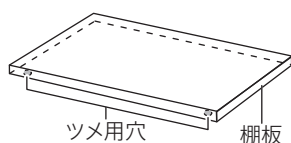
1 棚板の上の収納物を取り除き、棚板を外します。

2 ダボを抜きます。

3 お好みのダボ穴位置にダボを差し込みます。

4 棚板を取り付けます。

ツメ用穴が下面手前になるようにして、
ダボの上に棚板をのせてセットします。



スライドボードの取り外し、取り付け

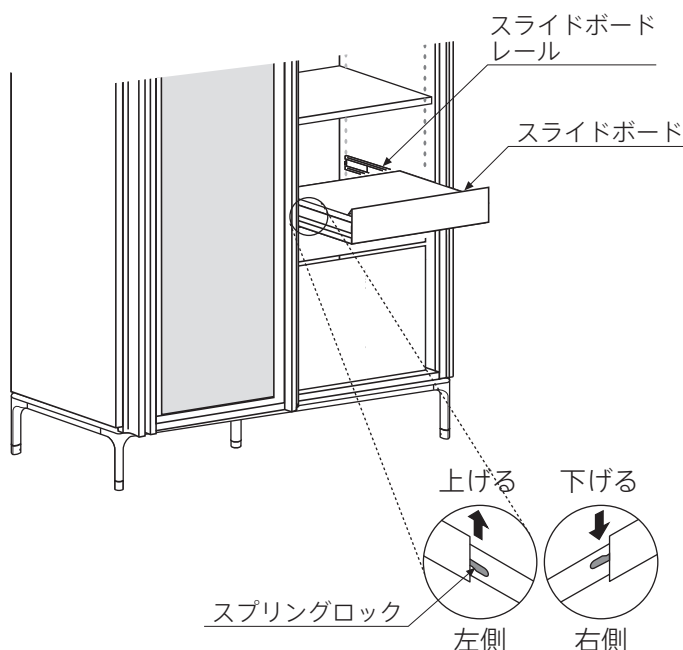
スライドボードは取り外すことができます。

■取り外し

スライドボードをいっぱいまで引出した後、スライドボードレールについているスプリングロックを左側は上げながら、右側は下げながらさらに引出します。

■取り付け

スライドボード本体のレールをスライドボードレールに差し込むようにスライドさせて、奥までしっかり押し込んで固定します。

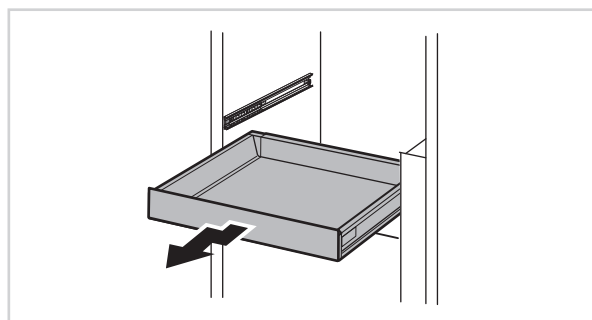


内装引出しの取り外し、取り付け

内装引出しは取り外すことができます。

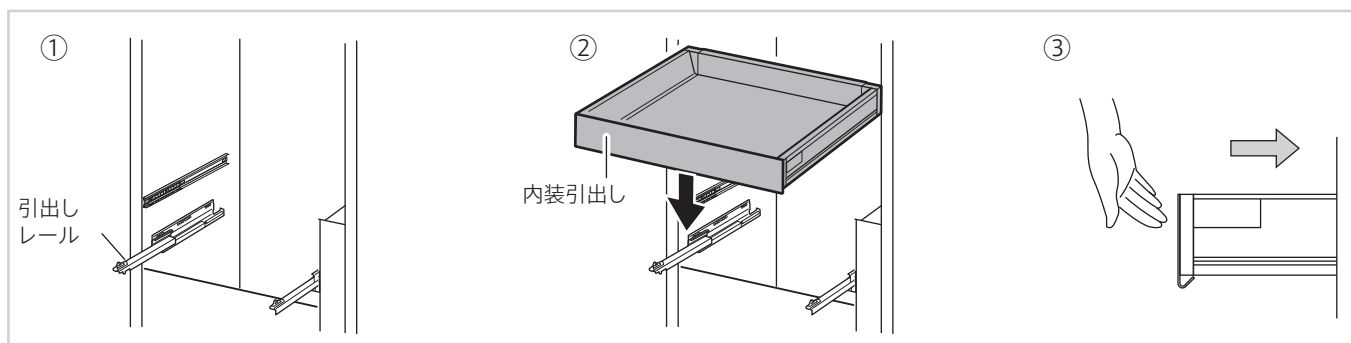
■取り外し

内装引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げながら引出しレールから引き抜きます。



■取り付け

- ① 引出しレールをいっぱいまで引出します。
- ② 引出しレールの上に内装引出しをのせます。
- ③ 内装引出しを「パチン」と音がするまで奥へ押し込んで、引出しレールに固定します。



引き戸の取り外し

- 1 底板、内装引き出し（深型）を外す。**
棚板タイプおよび家電収納タイプ（D430）の場合、底板を外します。（P53参照）
家電収納タイプ（D650）の場合、内装引き出し（深型）を外します。（P7参照）
- 2 下部ローラーの調整ネジをゆるめる。**
引き戸（R/L）の下部ローラーの調整ネジを反時計回りに回してゆるめてください。（図2）
- 3 上部ローラーの調整ネジをゆるめる。**
引き戸（R/L）の上部ローラーの調整ネジを反時計回りに回してゆるめてください。（図1）

図1

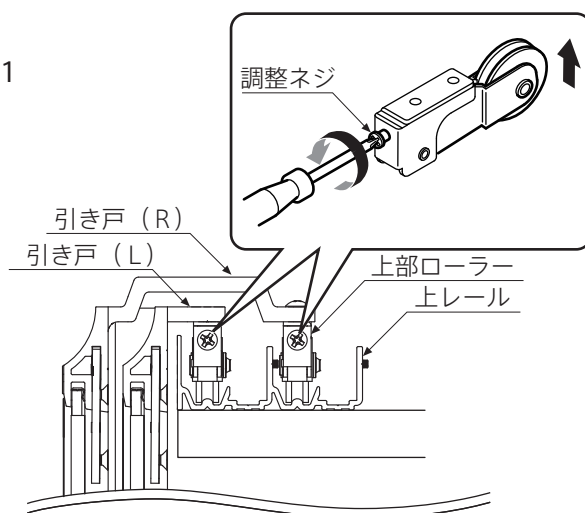
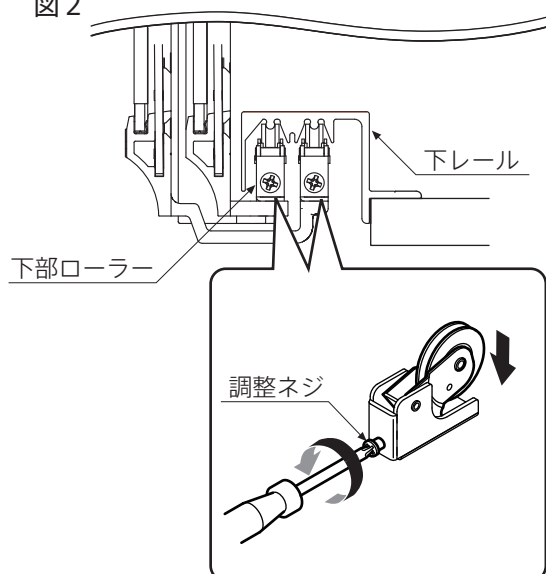


図2



4 下レールを外す。

下レールのネジを外し、引き戸 2 枚を手前に引きながら、下レールを外します。
(図 3)

5 引き戸 (R) を外す。

引き戸 (R) を右端に移動させ、下部を手前に引き、下部を手前に引いたまま、引き戸
を中心に持っていきます。中心まできたら、全体を持ち上げ、上レールのレール部分
(奥側) から取り外します。(図 4・5)

6 引き戸 (L) を外す。

引き戸 (L) を中心に移動させ、下部を手前に引き、全体を持ち上げ、上レールのレール部分
から取り外します。

注意

引き戸 (R) を外さないと、引き戸 (L) は外せません。

図 3

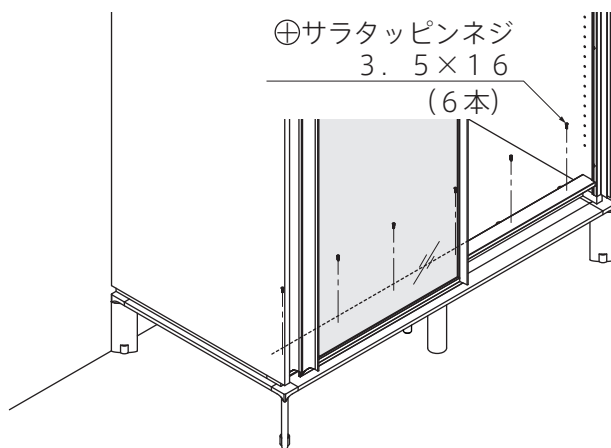


図 4

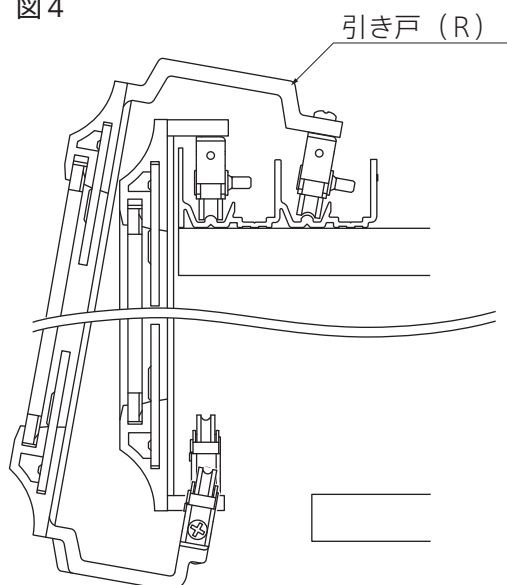
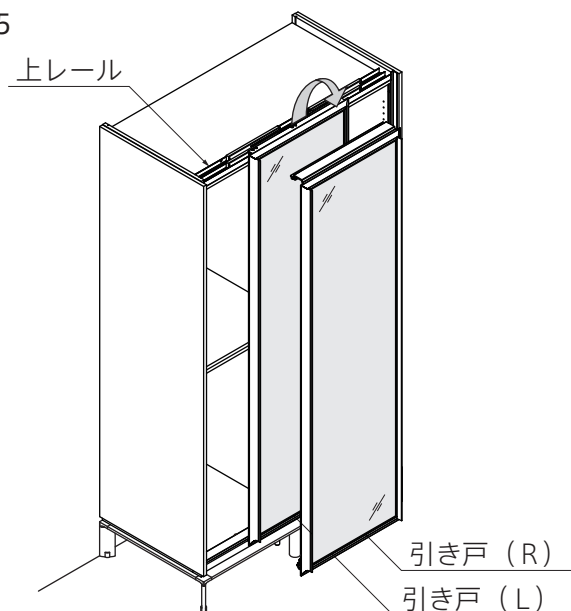


図 5



引き戸の上下方向調整

引き戸の水平が出ていない時は、上部ローラーで調整してください。

1 下部ローラーの調整ネジをゆるめる。

・下部ローラー（左右2ヶ所）の調整ネジを反時計回りに回してゆるめてください。（図2）

※上部、下部ローラーを調整の際にはフレキシブルドライバーをご使用ください。



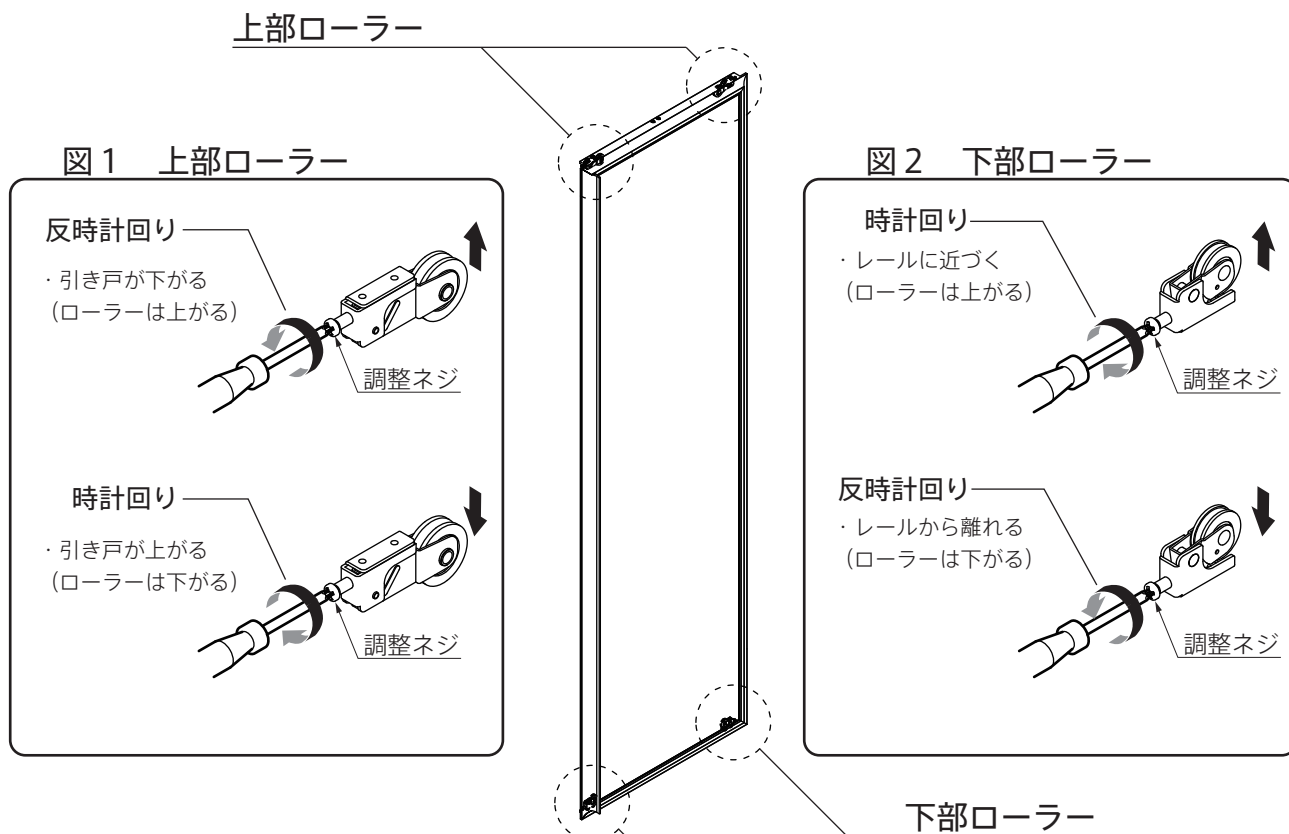
2 上部ローラーの調整ネジで引き戸の上下方向を調整する。

・上部ローラーの調整ネジを回して調整し、引き戸の水平を出してください。（図1）

3 下部ローラーの調整ネジを締める。

・下部ローラーの調整ネジを時計回りに回してローラーとレールに係る程度に調整してください。（図2）

※下部ローラーの調整ネジを締め付けすぎないように注意してください。



【引き戸の調整時の注意】

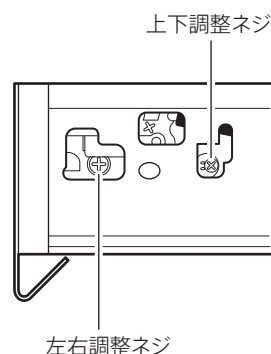
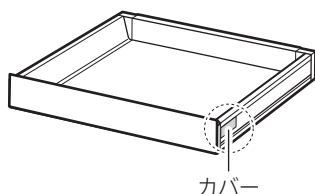
※上部ローラーの調整ネジを反時計回りに回してゆるめすぎるとローラーが引き戸と接触し、動かなくなります。

内装引出し前板の調整

内装引出し前板は調整することができます。

1 カバーを取り外す

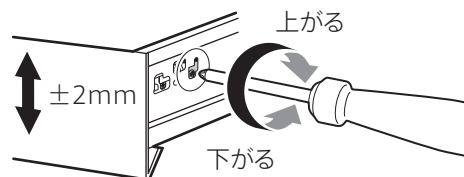
内装引出し側板の左右外側に付いているカバーを取り外します。



2 調整を行う

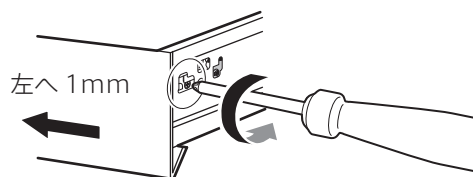
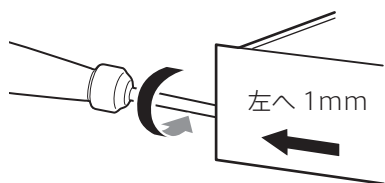
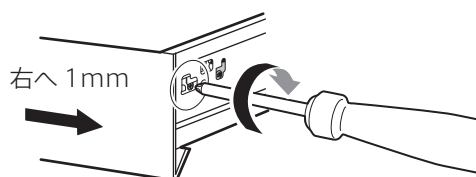
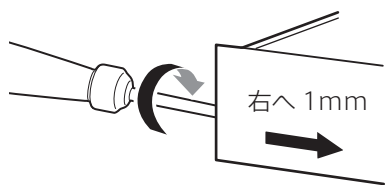
■上下方向

上下調整ネジで上下方向の調整を行います。
± 2 mm 調整できます。



■左右方向

左右調整ネジで左右方向の調整を行います。
± 1 mm 調整できます。



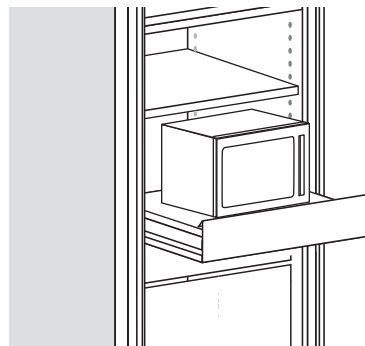
3 カバーを取り付ける

スライドボードについて

家電製品を使用する時は、必ずスライドボードを一杯まで引出して、安定した状態で使用してください。

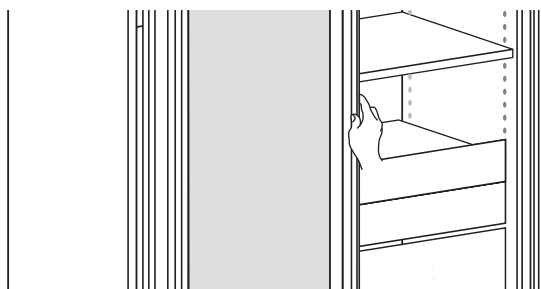
家電製品を使用した後で収納庫内に収納する場合は、家電製品が室温レベルに下がるまで待ってから、収納してください。オーブンレンジ、炊飯器、電気ポット、オーブントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、ユニットの変形及び破損の原因になります。また、水蒸気が家電製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。

なお、オーブンレンジ等を収納する場合は、壁に接する事がない様スライドボードの中央に配置してください。過熱、火災の原因になります。



その他のご注意など

- 引き戸の開閉は、引手の中央付近を持って行うとより滑らかな開閉ができます。



- 引き戸（ミラー）に水等が付着した場合はすぐに拭き取り、常に清潔な状態を保ってください。

鏡の銀は薬品により腐食する恐れがあります。

また、水は腐食を促進させることがあります。

- 引き戸に強い衝撃を与えないでください。

ガラスや鏡が割れて、ケガをする恐れがあります。

- 高熱のものは近づけないでください。

暖房器具等を近づけると、引き戸の変形の原因になります。

- 冷暖房器具の風が直接当たらないようにしてください。また、直射日光の当たる場所は、窓にカーテン等を設けて日光を遮ってください。

引き戸の反り・変形・変色の原因になります。

- 弱アルカリ性の漂白剤・硫酸・塩酸等の強酸、ガソリン・アルコール・シンナー・ベンジン等の溶剤、ワックス・化学雑巾等は、絶対に使用しないでください。

変質・変色する恐れがあります。

お手入れ

汚れは放置すると落ちにくくなりますので、汚れたらすぐにお手入れすることをおすすめします。
お手入れには、やわらかい布をご使用ください。
ガラスや鏡部分のお手入れは、乾布または湿った布で拭いてください。
市販のガラスクリーナー等を使用する場合は、鏡裏面や端部にガラスクリーナーが付着しないようにしてください。

■通常のお手入れ



水を含ませてよく絞ったやわらかい布で拭いた後、乾いたやわらかい布でから拭きします。

■汚れたときのお手入れ

必ず中性洗剤を使用してください。
シンナー、ベンジン等の有機溶剤や漂白剤は絶対に使用しないでください。
変質・変色する恐れがあります。

- ①中性洗剤をやわらかい布にしみこませて拭きます。
- ②水を含ませてよく絞ったやわらかい布で洗剤を拭き取ります。
- ③乾いたやわらかい布でから拭きします。

アフターサービス

■この取扱説明書に記載されている事項を点検していただいてもなお異常が発生する場合や、お気づきの点がありましたら、取付・設置店、販売店、またはトーヨーキッチンカスタマーサービスにお問い合わせください。

■お問い合わせの際は、次の内容をご連絡ください。

- ・ご氏名
- ・ご住所
- ・お電話番号
- ・お買い上げ日
- ・異常の内容
- ・品番

■製品の保証期間はご購入後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

■弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取り扱いします。

1. 弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ホルムアルデヒド発散区分

ホルムアルデヒド発散区分

内装仕上げ部分および下地部分とも

F☆☆☆☆

表示ルール

「住宅部品表示ガイドライン」キッチンバス工業会 表示指針による

VOC 放散性能

VOC放散性能

4VOC基準適合（木質建材）

表示ルール

「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

取付・設置説明書

取付・設置を行う方のための説明書です。
移設する場合などに必要となります。

取付・設置される方へのお願い



- 取付・設置時に、引き戸などを分解しないでください。
- 取付・設置後は最終頁に記載されている内容を確認してください。
- 移設などで分解するときは、組み立てと逆の手順で行ってください。
ただし、必ず専門業者に依頼してください。

安全上のご注意



必ずお守りください


取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。




■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度 」をいう。
 注意	この表示の欄は「 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度 」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、 製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号 です。
	この図記号は、 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号 です。

 **警告**

<p>取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。</p>  <p>転倒して、ケガをする恐れがあります。</p>	<p>分解・修理・改造を行わないでください。</p>  <p>ケガをする恐れがあります。</p>
<p>電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行ってください。</p>  <p>火災、感電の原因になることがあります。</p>	

⚠ 注意

必ず壁面に固定してください。



転倒して、ケガをする恐れがあります。

取付・設置完了後は、部品のゆるみがないことを確認してください。



ケガをする恐れがあります。

引き戸を取り付けた後は、数回開閉させてガタつき、異音がないかなど異常がないことを確認してください。



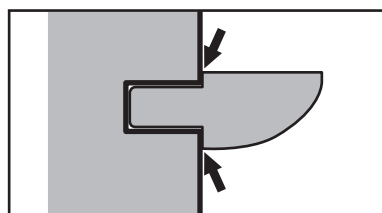
引き戸が落下して、ケガをする恐れがあります。

引き戸は質量があるため、慎重に取り扱ってください。



外れたり、倒れたりするとケガをする恐れがあります。

棚板を設置するときは、棚受け（ダボ）をすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。



確実に差し込まれていないと、棚板が外れ、収納物が落下して、ケガをする恐れがあります。

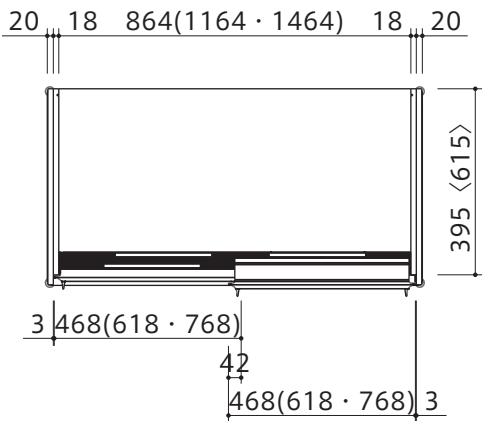
取付・設置スペース

- 1 注文した製品が納入されているか確認してください。
- 2 壁面の取付位置に取付枠があることを確認してください。
- 3 MR☆N-90(120・150)HBATSの場合、指定位置に電源が壁出し（壁より1m程度）してあるか確認してください。（交流・単相100V 1200W×2）
- 4 壁の直角・垂直・床の水平レベルを確認してください。
- 5 下記の天井高さがあることを確認してください。
 - ・AF仕様【H=100】の場合、2300mm以上（※INO AF Sタイプのみ）
 - ・AF仕様【H=150】の場合、2350mm以上
 - ・AF仕様【H=200】の場合、2400mm以上

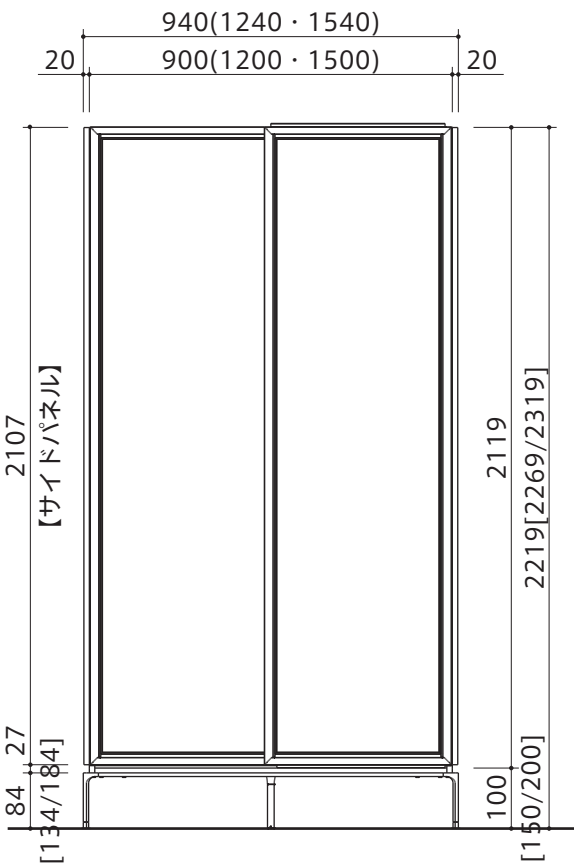
製品寸法図

※ 〈 〉 内寸法は、MRMN-90(120・150)****の場合を示す。
 ※ [] 内寸法は、A F仕様 [H=150/200] の場合を示す。
 A F仕様 [H=100] は、I N O A F Sタイプのみ。
 ※電源コードの取り出しは、MR☆N-90(120・150)HBATSの場合のみ。

※イラストは、I N O A F Sタイプの場合を示す。



18

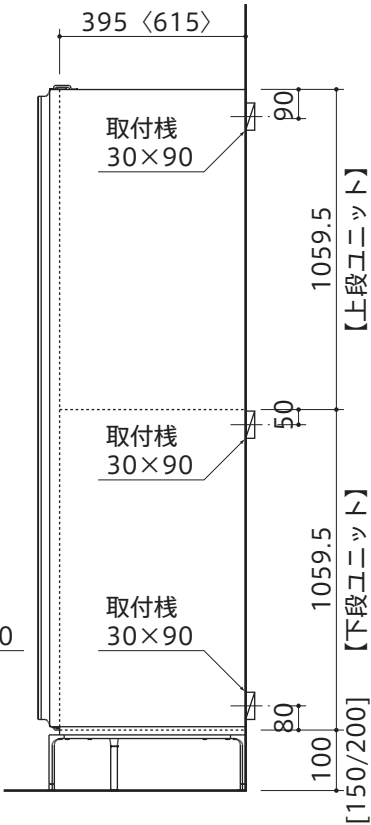
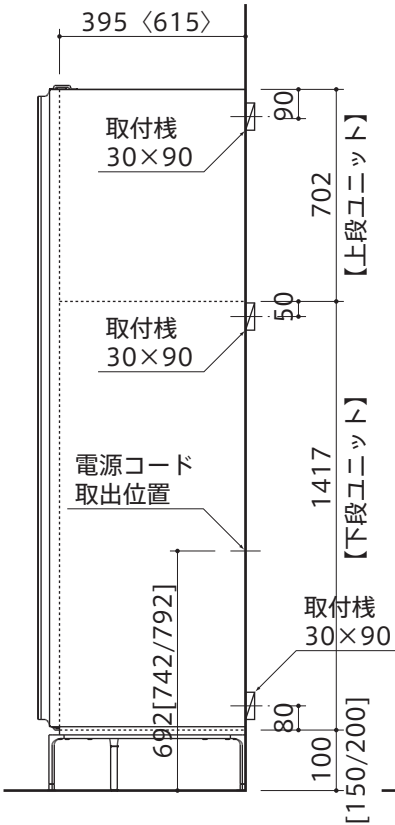


家電収納タイプ

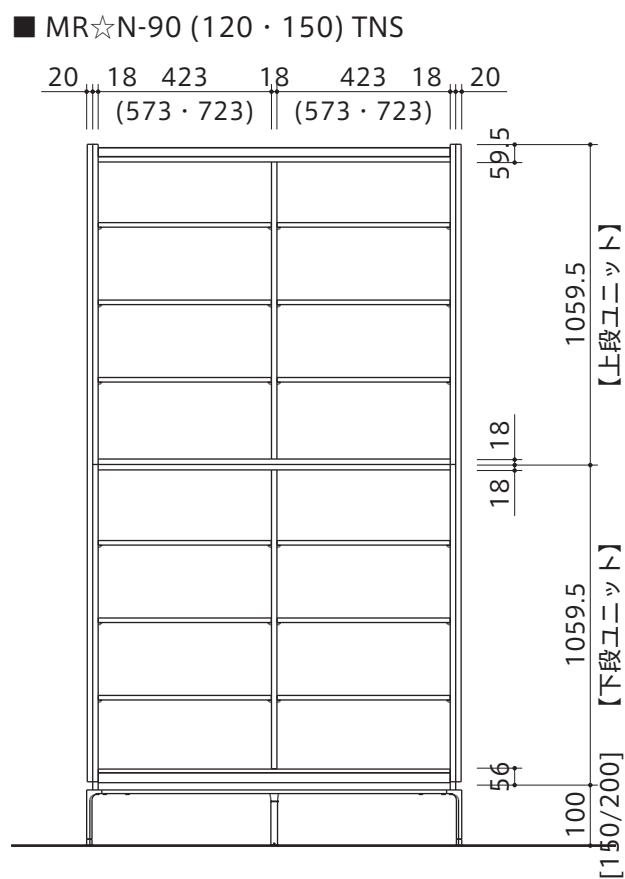
棚板タイプ

■ MR☆N-***HBATS

■ MR☆N-***TNS

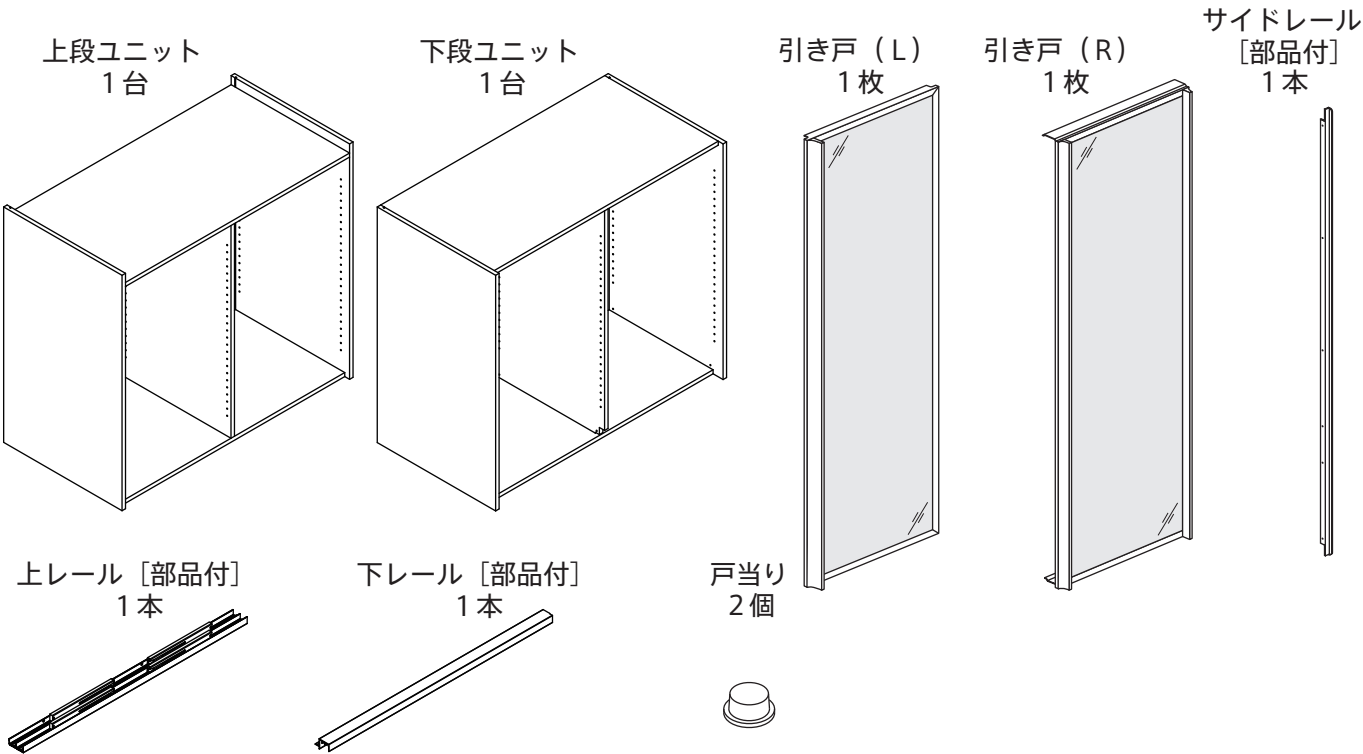


■ MRTN-90 (120 · 150) HBATS



部品の一覧

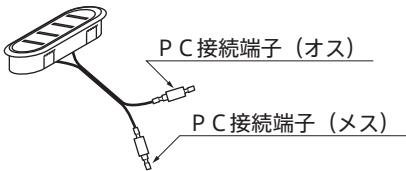
・下記の部品にて構成されています。
欠品等の無いことを確認してください。



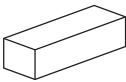
20

- 棚板 [部品付]
MR☆N-90(120・150)TN★
… 1 2 枚+底板用 2 枚
MRTN-90(120・150)HBAT★
… 1 0 枚+底板用 2 枚
MRMN-90(120・150)HBAT★
… 6 枚

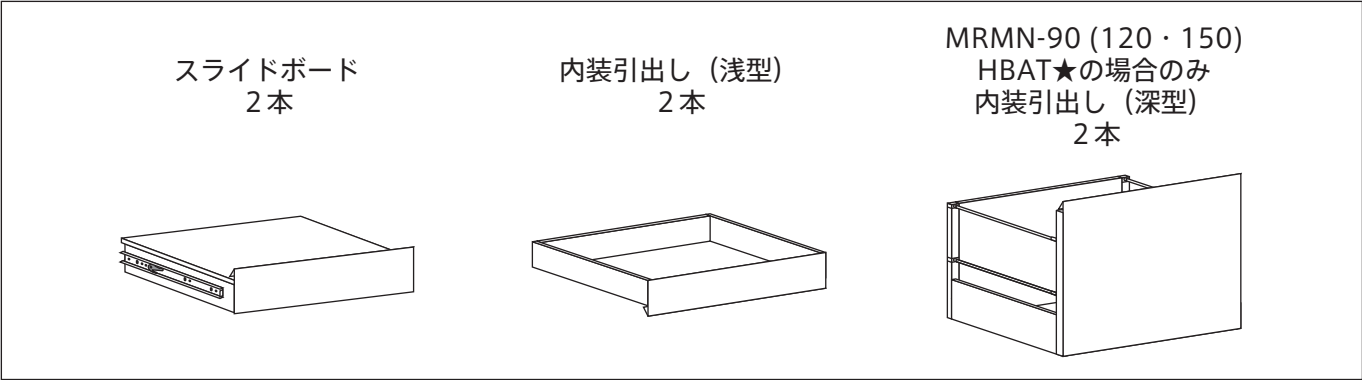
- スライドコンセント 2 個
[P C 接続端子 オス、メス各 2 個付]



- スペーサー
・サイドパネル無用 2 個
12 x 16 x 50 (mm)
・サイドパネル有用 2 個
18 x 16 x 52 (mm)



■家電収納タイプの場合

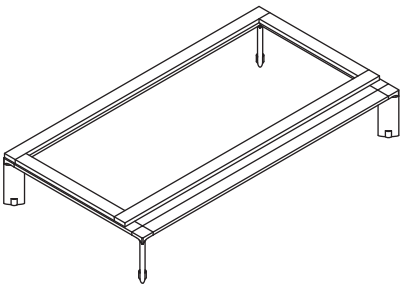


《 付属部品 》

・ ⊕ナゲシネジ 4. 2 x 6 5	1 2 本
・ ⊕ナゲシネジ 3. 8 x 3 2	1 4 本
・ ワッシャー	2 6 個
・ ヘッドキャップカバー	2 6 個
・ 取説工説	1 冊

■INO AF Cタイプの場合（別売品）※セットプランをのぞく

INO AF Cタイプ
1台

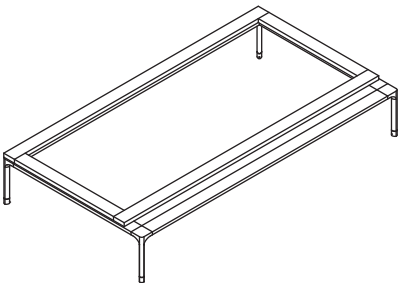


— ワッシャーヘッドタッピンネジ
4.0×40 . . . 4本

- ユニット1セットにつき
- ・⊕サラタッピンネジ4.0×30
 - ・ワッシャー
 - ・ヘッドキャップカバー
- W=900mmの場合 各8個使用
W=1200・1500mmの場合 . . . 各12個使用

■INO AF Sタイプの場合（別売品）※セットプランをのぞく

INO AF Sタイプ
1台



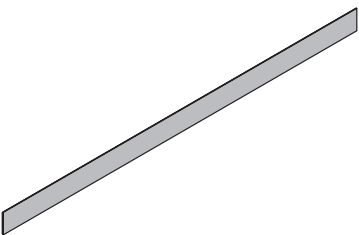
— ワッシャーヘッドタッピンネジ
4.0×40 . . . 4本

- — 転倒防止部品 4個
- — 床保護プレートφ30 4枚

- ユニット1セットにつき
- ・⊕サラタッピンネジ4.0×30
 - ・ワッシャー
 - ・ヘッドキャップカバー
- W=900mmの場合 各8個使用
W=1200・1500mmの場合 . . . 各12個使用

■INO AF C・Sタイプ共通部品

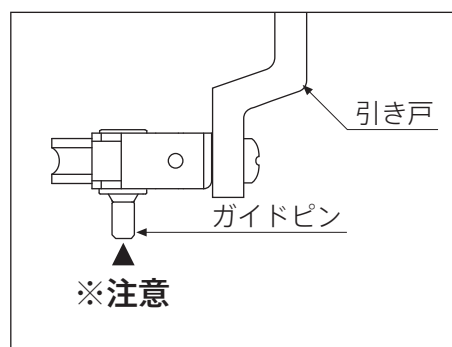
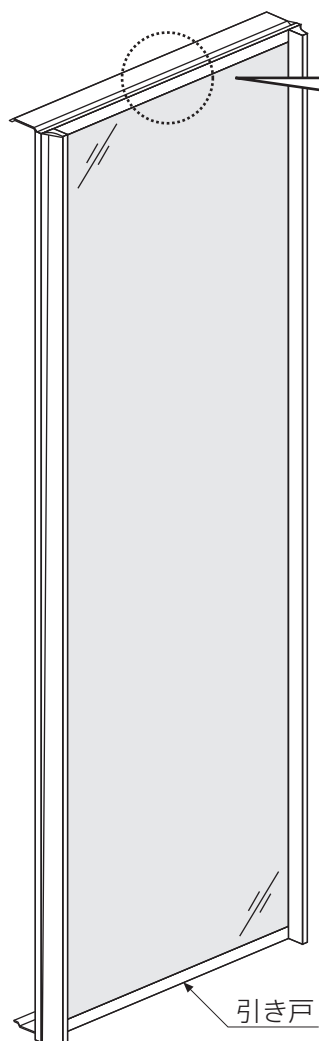
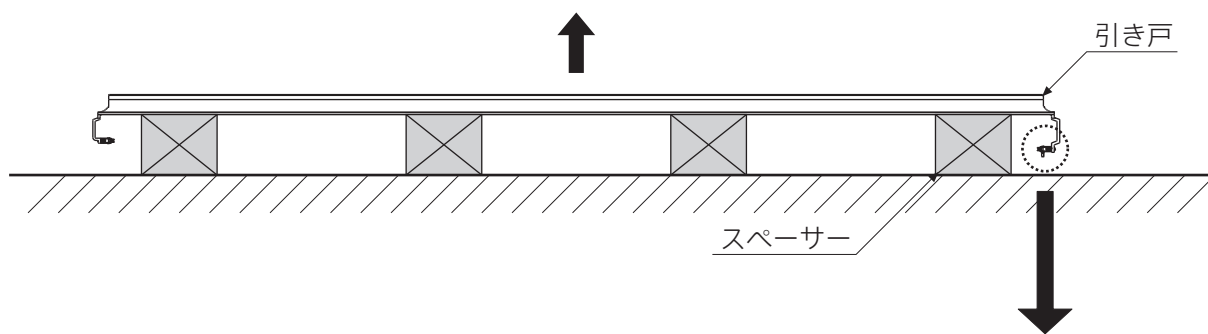
- スリット化粧板
- ・15mm巾 1本
 - ・20mm巾 最大3本
 - ・25mm巾 最大3本



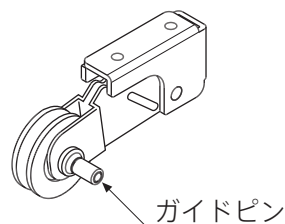
取付・設置上のご注意

注意

引き戸は直接床に置かないでください。ローラーが変形する恐れがあります。
引き戸を床に置く際は、ガイドピンが床に当たらないよう引き戸と床の間にスペーサーを入れて、表面を上にして水平に置いてください。



ローラーが変形する恐れあり！



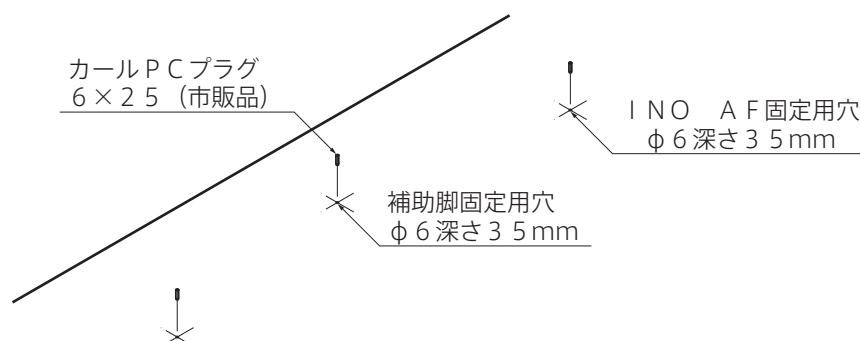
※ガイドピンが床に当たらないように

取付・設置方法

下段ユニットの設置、固定

1 固定用穴あけ（※床固定にカールP Cプラグを使用する場合）

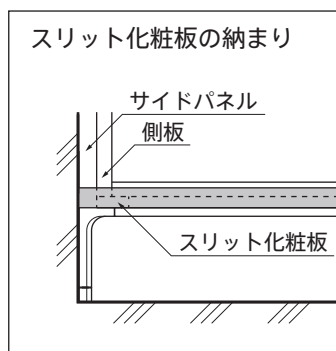
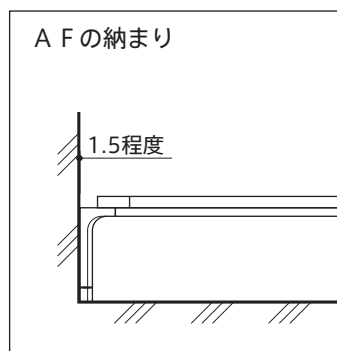
- ・コンクリート床、石床の場合、I N O A Fと補助脚の取付位置にカールP Cプラグを取り付けます。
I N O A Fと補助脚の設置位置に固定用穴φ6深さ3.5mmをあけます。
固定用穴にカールP Cプラグ6×2.5（市販品）を打ち込みます。
- ※壁に接する側のI N O A F取付位置にはカールP Cプラグの取り付けは不要です。



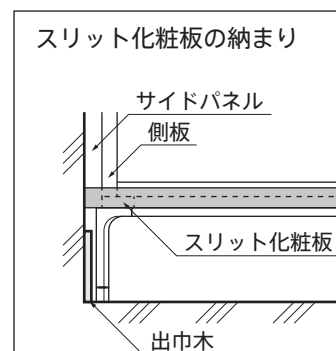
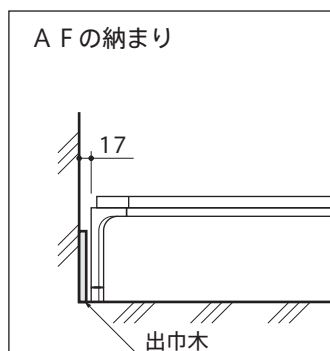
23

〔正面図〕 ※イラストはSタイプを示します。納まりはCタイプも同様です。

■側面の壁に出巾木がない場合

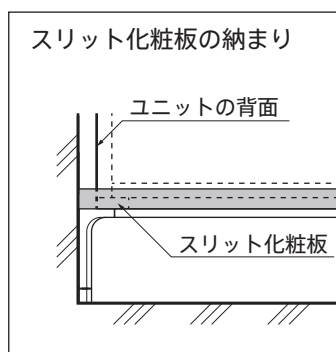
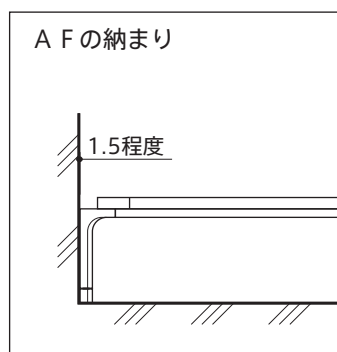


■側面の壁に出巾木がある場合

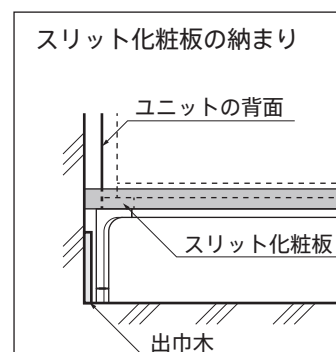
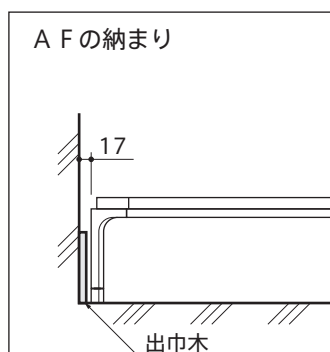


〔側面図〕

■背面の壁に出巾木がない場合



■背面の壁に出巾木がある場合

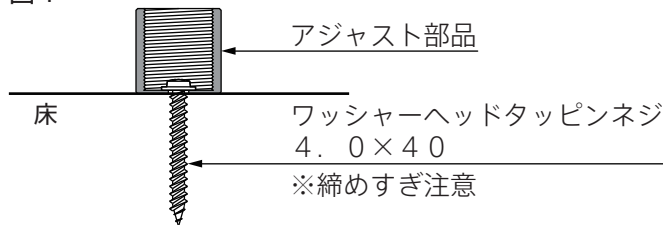


2 転倒防止部品の取り付け、INO AF の設置

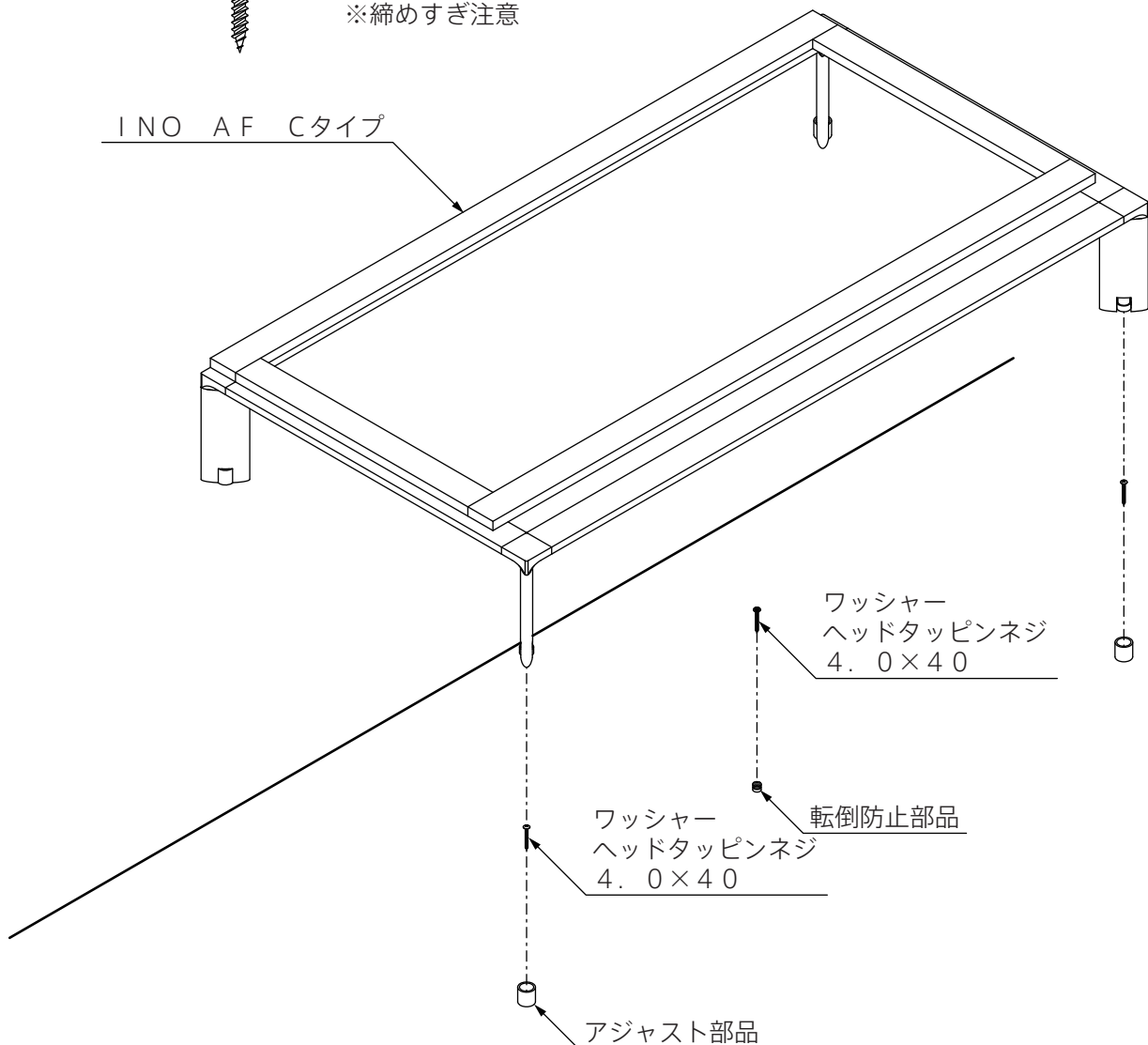
【INO AF Cタイプの場合】

- ・INO AF の設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ 4.0×40 にてアジャスト部品を床面に固定します。
- ※ネジはアジャスト部品が回る程度に締めてください。(図1)
- ・補助脚の設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ 4.0×40 にて転倒防止部品を床面に固定します。
- ※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取り付けます。
- ・INO AF Cタイプをアジャスト部品に差し込みながら床面に設置します。

図1

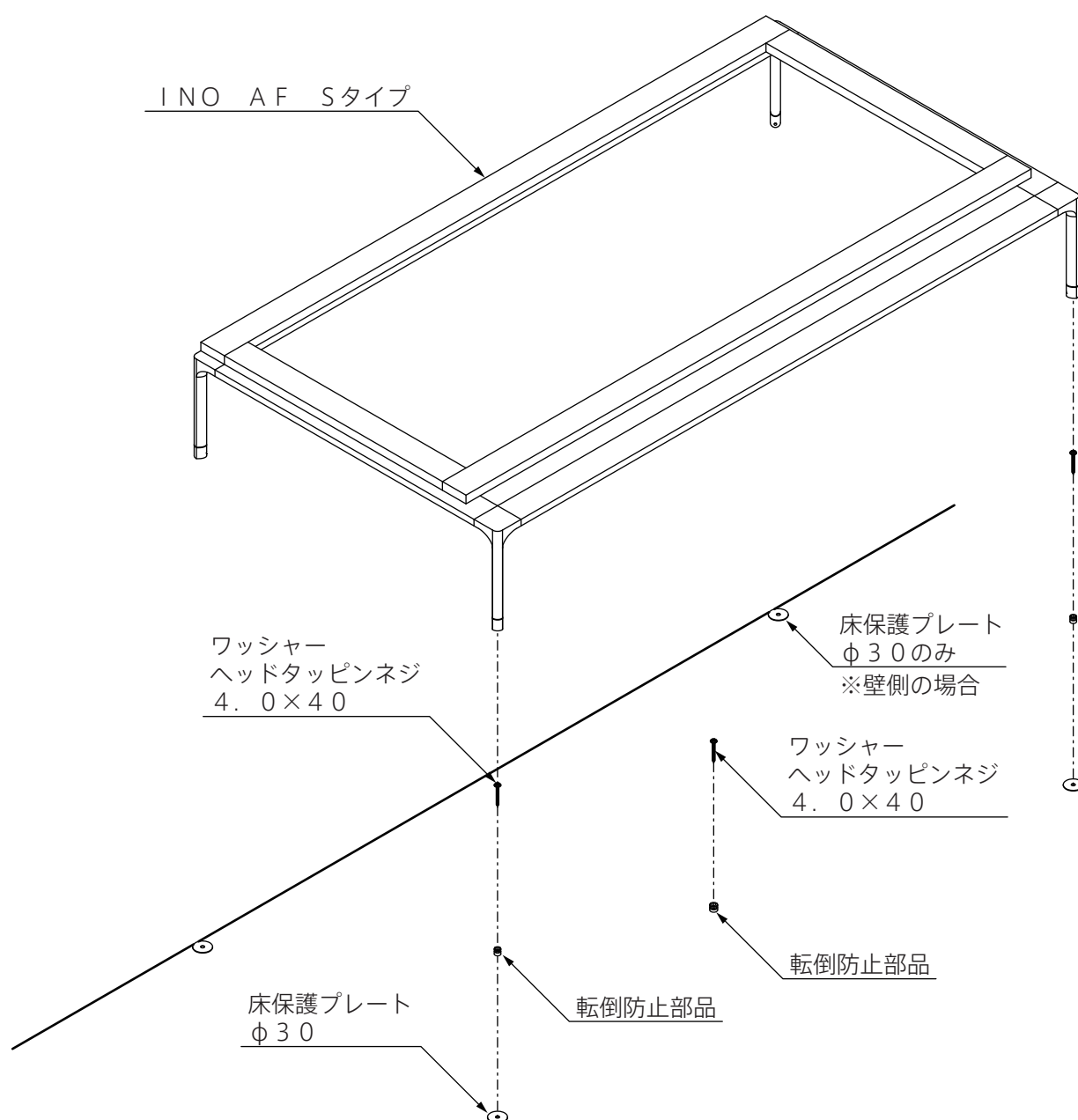


INO AF Cタイプ



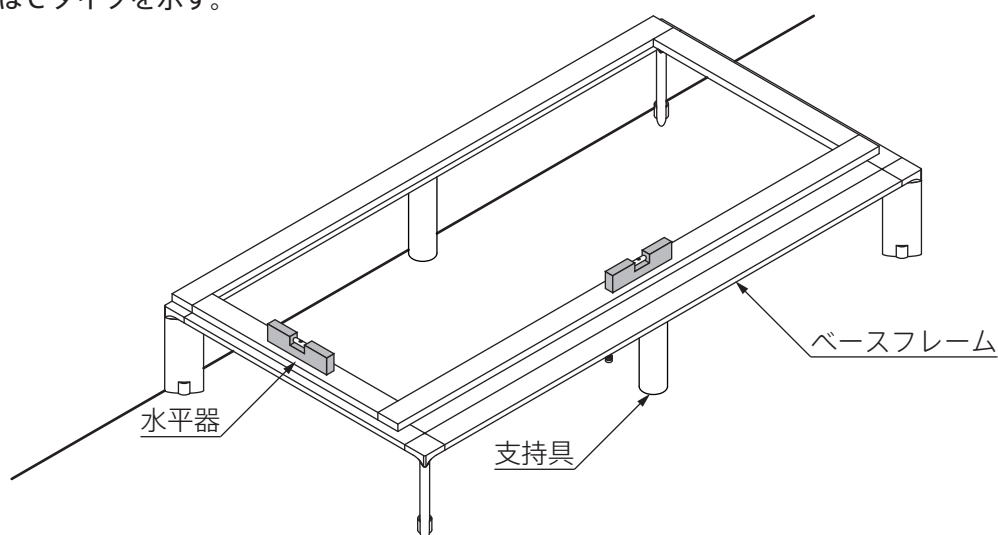
【INO AF Sタイプの場合】

- ・INO AFの設置位置に、床保護プレートφ30を置き、その上から付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。
 - ・補助脚の設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。
- ※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取り付けます。
- ・INO AF Sタイプを転倒防止部品に差し込みながら床面に設置します。



3 支持具の設置

- ・取付・設置の際に、ベースフレームがたるまないように、支持具で支えます。
- 支持具はベースフレーム下で支え、750mmピッチ以下になるように設置します。
- ※支持具は、取付・設置が全て終了したら取り外します。
- ※イラストはCタイプを示す。



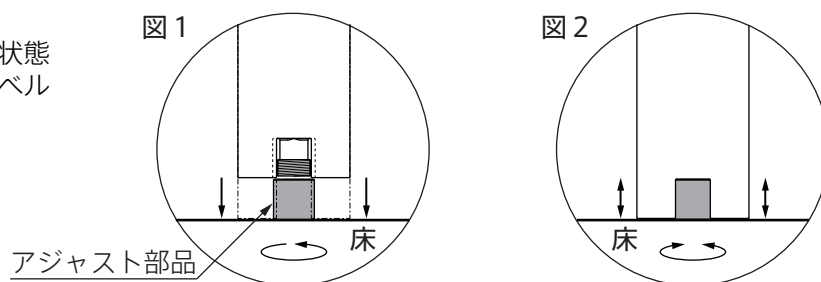
26

4 レベル調整、I N O A F の固定

- ・I N O A F のアジャスト部品を回して、レベルを調整します。
- 調整範囲 -0mm~+10mm

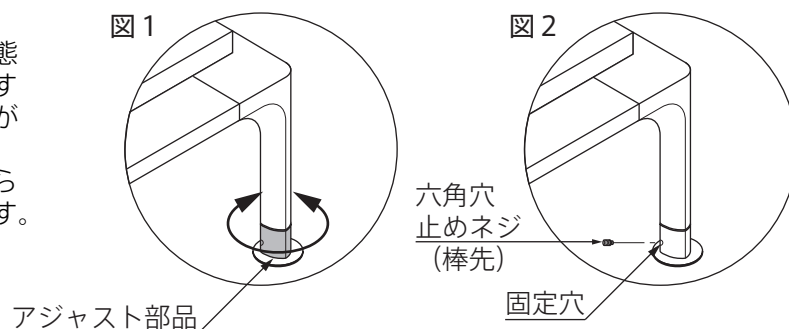
【I N O A F Cタイプの場合】

- ・アジャスト部品を一番下まで締めた状態（図1）を基準とし、低い場所のレベルを調整する。（図2）



【I N O A F Sタイプの場合】

- ・アジャスト部品を一番下まで締めた状態を基準とし、低い場所のレベルを調整する。A F 本体とアジャスト部品の形状が揃うよう調整します。（図1）
- ・アジャスト部品の固定穴（1ヶ所）から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。（図2）



5 補助脚の取り付け

【INO AF Cタイプの場合】

Cタイプの補助脚は、金属製クロームメッキタイプになります。

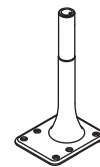
- ・ユニットを裏向けて、ユニット底板裏面の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取り付けます。補助脚の取り付け穴から、⊕バインドタッピンネジ4.0×16にて固定します。

【INO AF Sタイプの場合】

Sタイプの補助脚は、樹脂製クリアタイプになります。

- ・M8セレート付きネジを使用し、アジャスタープレートに補助脚を取り付けます。
- ・下段ユニット裏面の底板の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取り付けます。アジャスタープレートの取付穴から、⊕サラタッピンネジ4.0×16にて固定します。

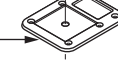
Cタイプ
補助脚
(金属製)



Sタイプ
補助脚
(クリア樹脂製)



アジャスター
プレート



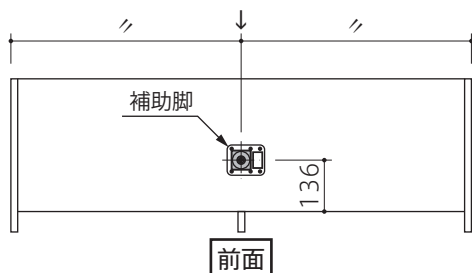
M8
セレート付きネジ



《単独置きの場合》

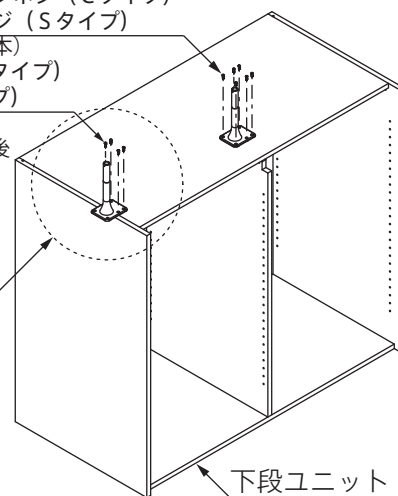
補助脚取付位置
(下段ユニット裏面)
[平面図]

ユニットのセンターに取り付けます



- ⊕バインドタッピンネジ (Cタイプ)
- ⊕サラタッピンネジ (Sタイプ)
- 4.0×16 (6本)
- ⊕バインドタッピンネジ (Cタイプ)
- ⊕サラタッピンネジ (Sタイプ)
- 4.0×16 (4本)
- ※残りの2本はユニット連結後に固定

《連結する場合》のみ
取り付け

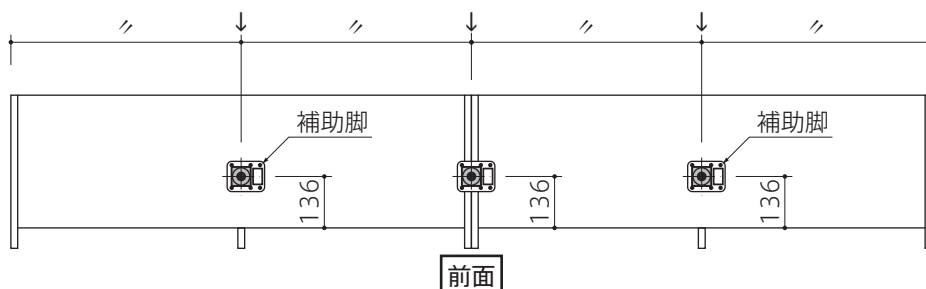


《連結する場合》

補助脚取付位置
(下段ユニット裏面)
[平面図]

ユニットの連結位置に取り付けます

ユニットのセンターに取り付けます ↓ ユニットのセンターに取り付けます



6 スライドコンセントの結線（家電収納タイプの場合）



警告

電気工事は、関連する法令・規程に従って必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電の原因になることがあります。

- ・あらかじめ壁から出ている電源コードをユニットの電源コード取入口よりユニット内に引き込み（図1）、スペーサーのスライドコンセント取付穴から取り出します。（図2）
- ・スライドコンセントに付属のP C接続端子を電源コードの先に取付け、スライドコンセントのP C接続端子と接続します。（図3）
- ※スライドコンセントと電源コードの接続は、P C接続端子を使用せず、直接結線するかは、電気工事側で選択してください。
- ・余分な電源コードはスペーサー内へ戻しながら、スライドコンセントを取付穴に差し込み、取り付けます。（図4）

図1

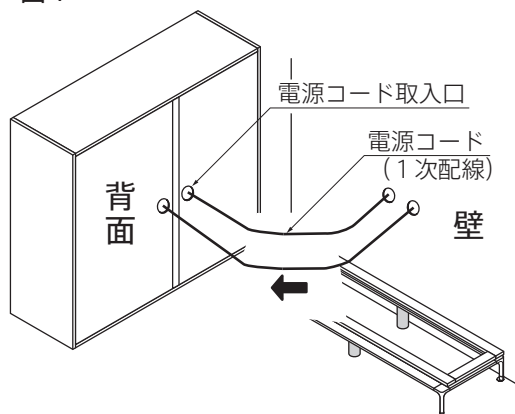


図2

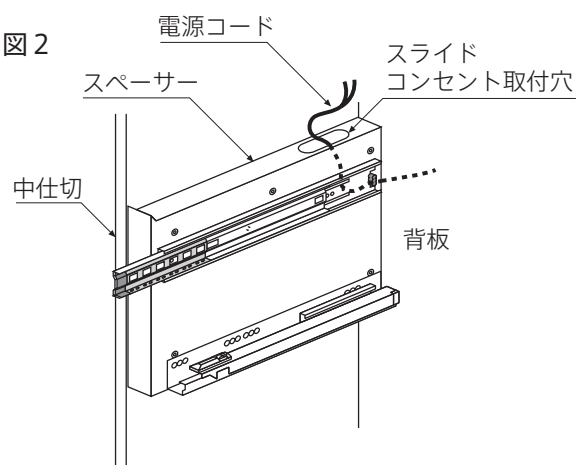


図3

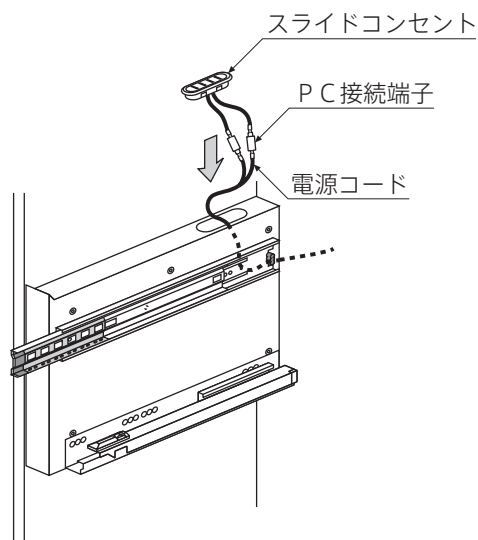
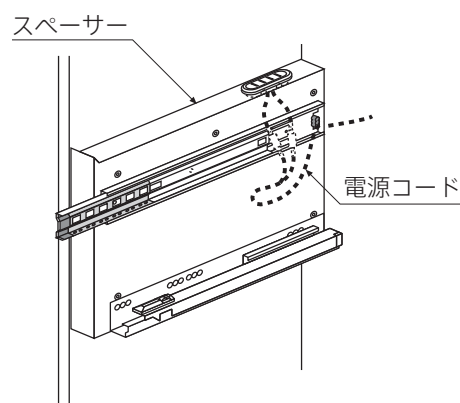


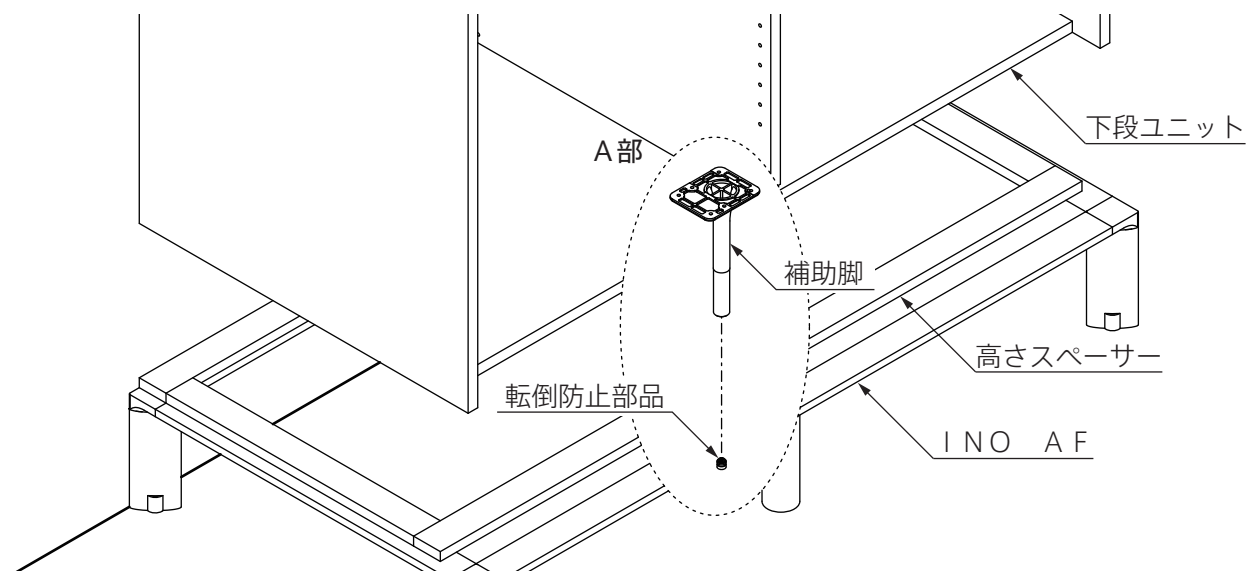
図4



7 下段ユニットの設置、補助脚のレベル調整・固定

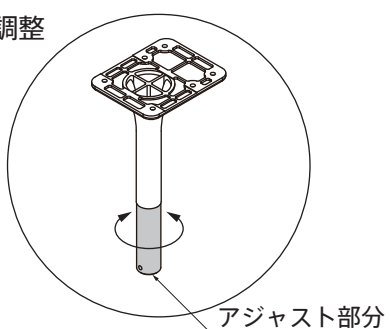
- ① I N O A F の上に下段ユニットを設置します。
補助脚を転倒防止部品に差し込みながら、《サイドパネル無し》の場合は下段ユニット側面と I N O A F の側面を揃えて設置します。《サイドパネル有り》の場合は下段ユニット側面と高さスペーサー側面を揃えて設置します。
- ② 補助脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。
■調整範囲 -0mm~+10mm
- ③ 補助脚の固定穴から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。
※Cタイプの場合は固定穴1ヶ所、Sタイプの場合は固定穴2ヶ所で固定します。

《単独置きの場合》 ※イラストはCタイプを示す。

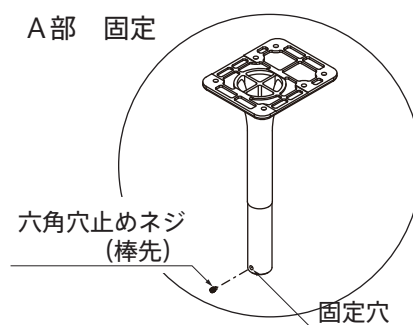


【I N O A F Cタイプの場合】

A部 レベル調整

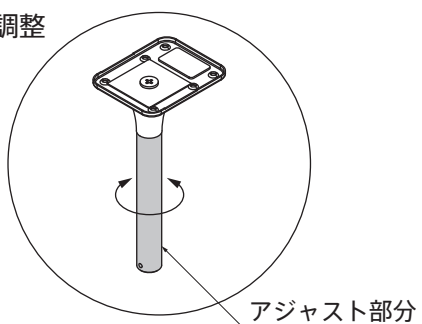


A部 固定

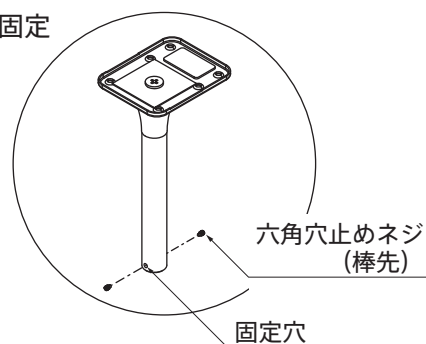


【I N O A F Sタイプの場合】

A部 レベル調整



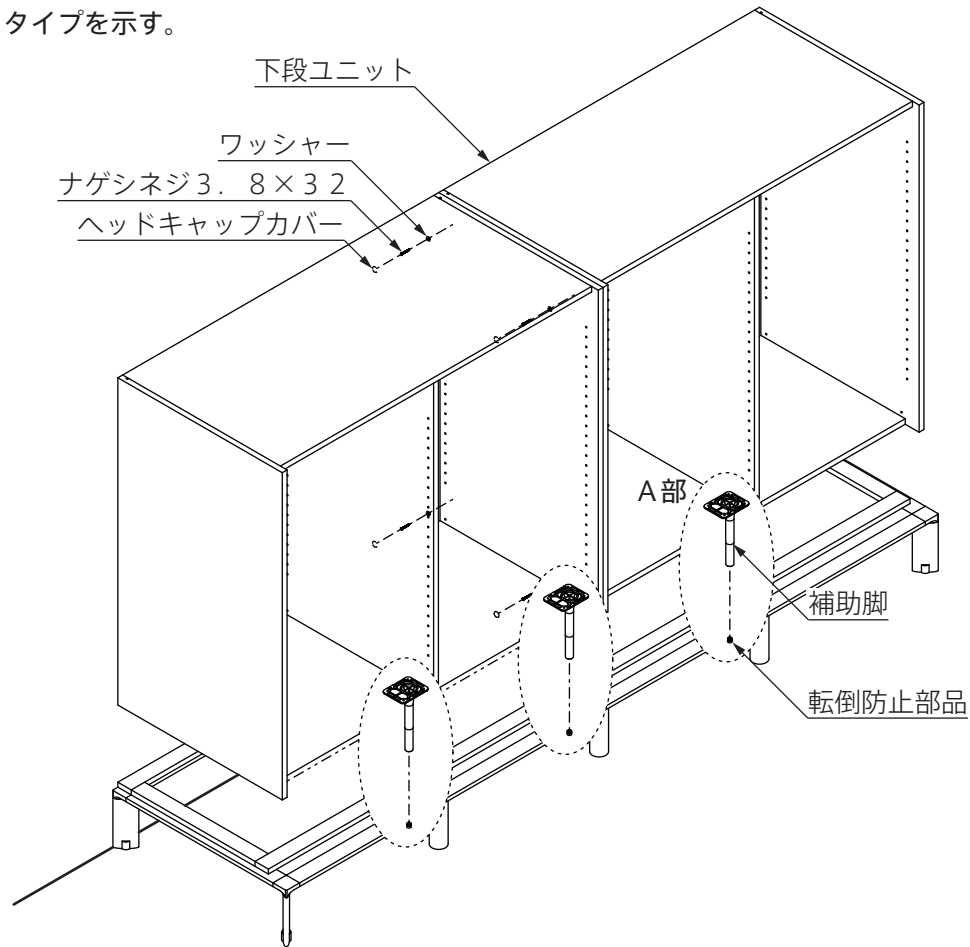
A部 固定



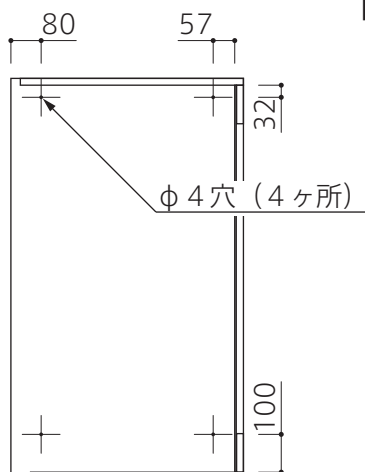
《連結する場合》

- ①ユニットを連結する場合、下段ユニット側板の指定位置に連結穴φ4をあけます。
隣接する下段ユニットの側板前面を揃え、⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、下段ユニット内側から固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。
- ②補助脚のアジャスタープレートの残りの穴から、Cタイプの場合⊕バインドタッピンネジ4.0×16（2本）
Sタイプの場合⊕サラタッピンネジ4.0×16（2本）にて固定します。
- ③補助脚のレベルを調整し、固定します。（「単独置きの場合」を参照）

※イラストはCタイプを示す。

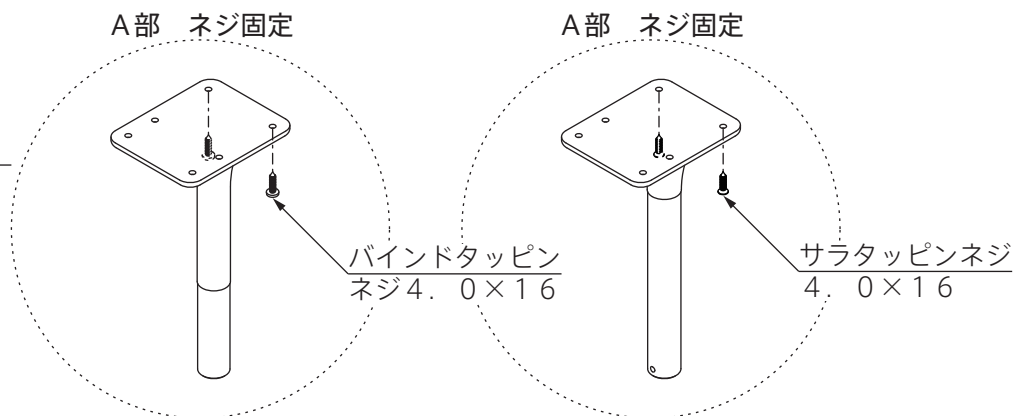


ユニット連結位置
[側面図]



【INO AF Cタイプの場合】

【INO AF Sタイプの場合】

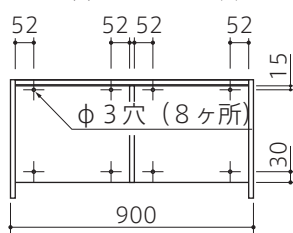


8 下段ユニットの固定

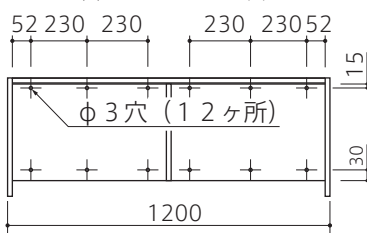
- 下段ユニットを I N O A F の高さスペーサーに固定します。
下段ユニット外面と高さスペーサー外面を揃えて、下段ユニット内側より底板の指定位置に固定穴φ3をあけ、
⊕サラタッピンネジ 4.0×30 にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

下段ユニット固定位置 [平面図]

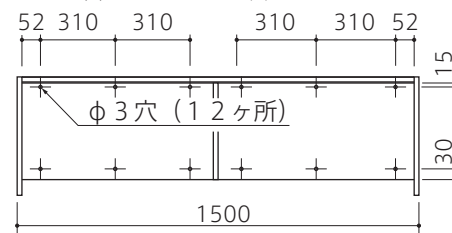
■MR☆N - 90TN★



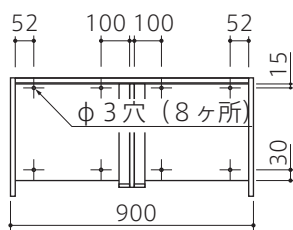
■MR☆N - 120TN★



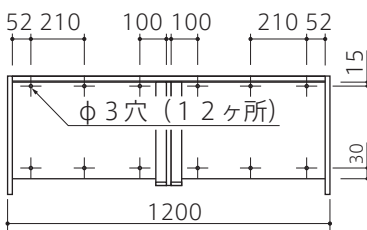
■MR☆N - 150TN★



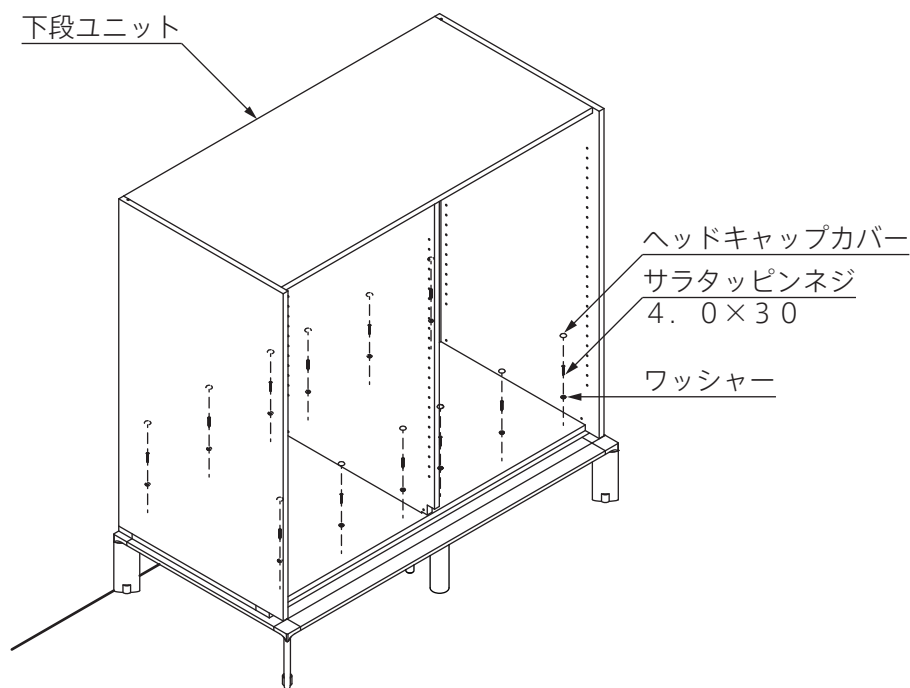
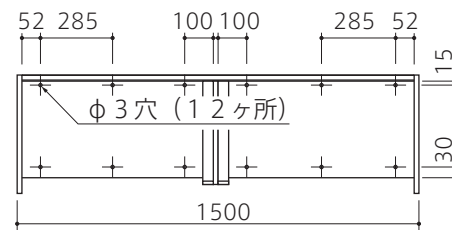
■MR☆N - 90HBAT★



■MR☆N - 120HBAT★



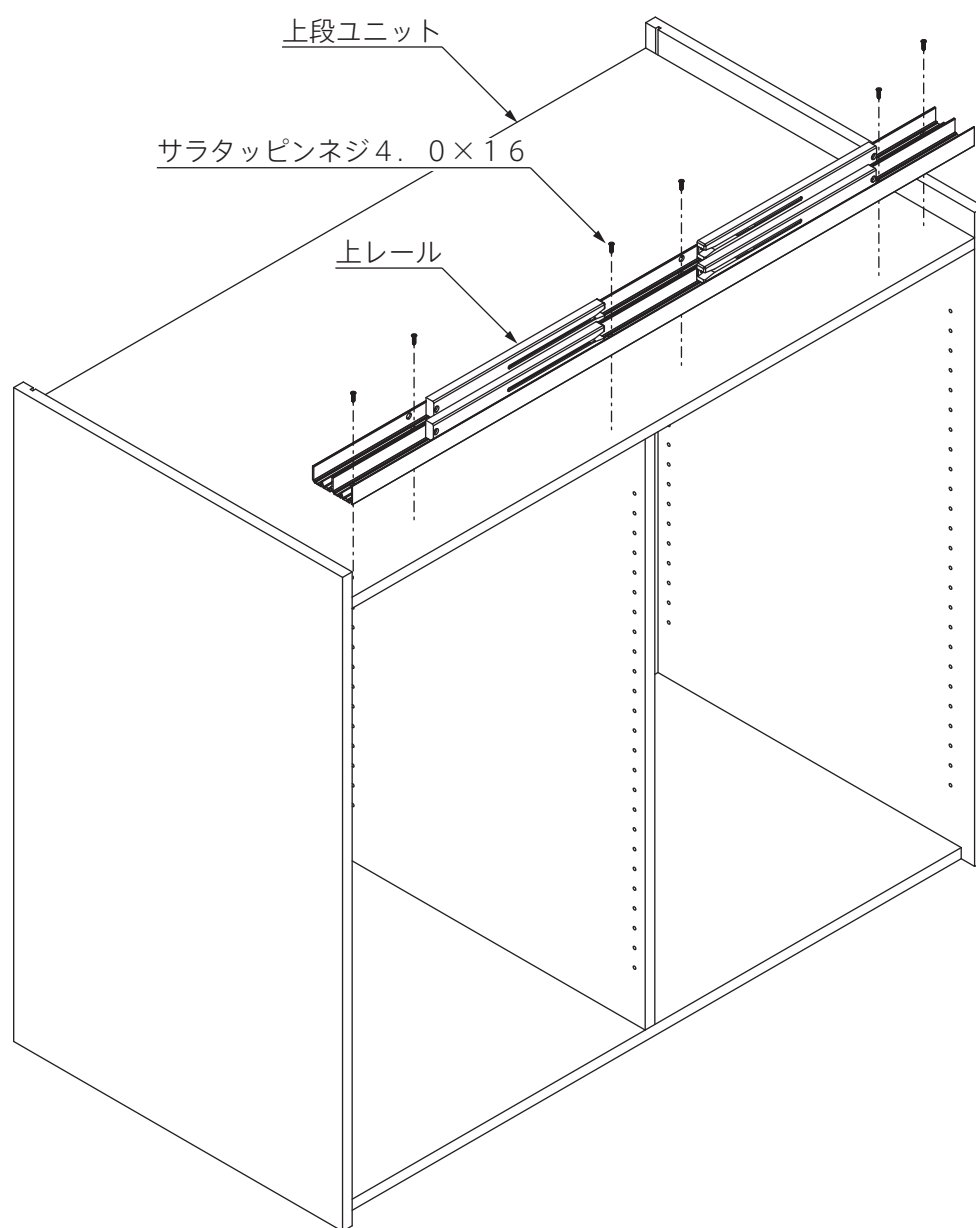
■MR☆N - 150HBAT★



上段ユニットの準備

1 上レールの固定

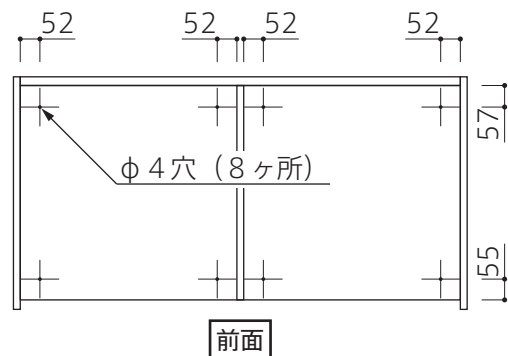
・上段ユニット天板の取付穴に上レールの取付穴を合わせ、⊕サラタッピンネジ4.0×16にて固定します。



上段ユニットの設置、固定

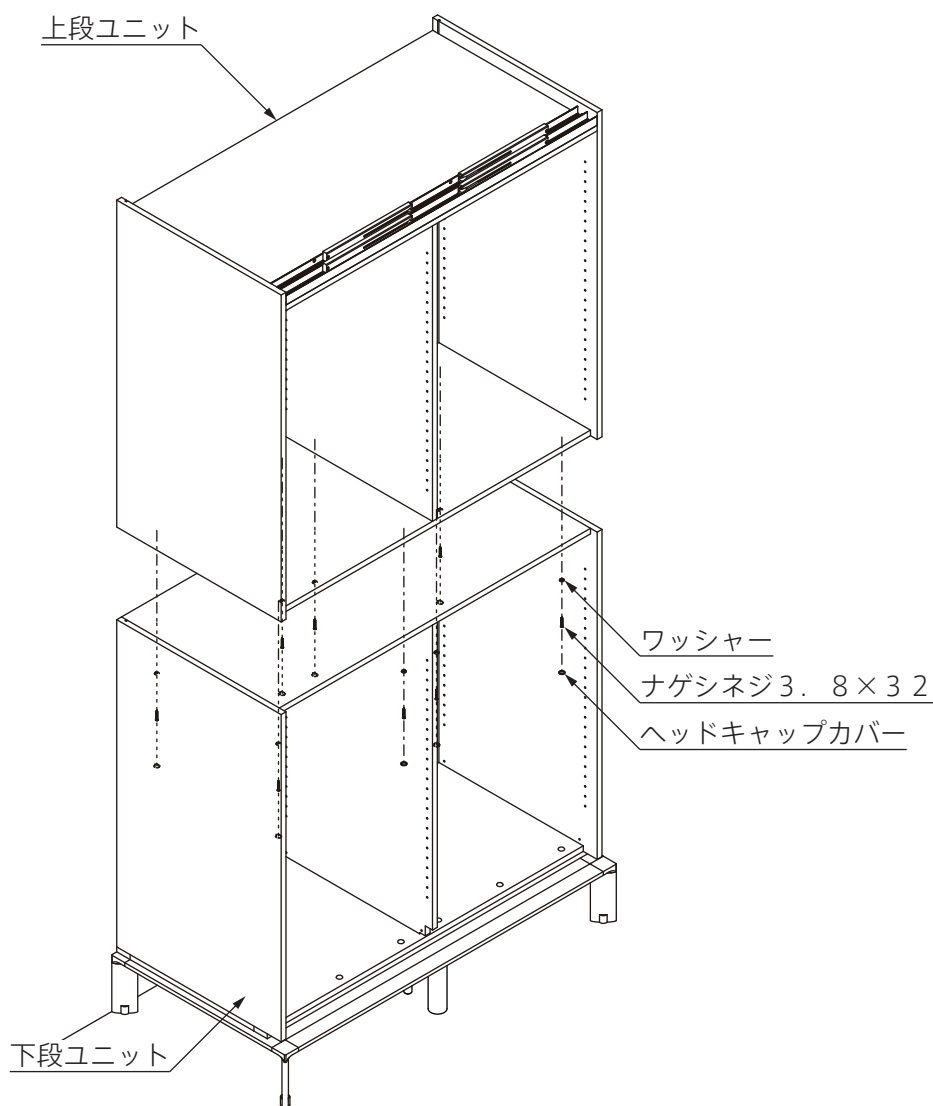
1 上段ユニット設置

- ・下段ユニット天板の指定位置に固定穴φ4をあけます。
- ・下段ユニットの上に上段ユニットをのせます。



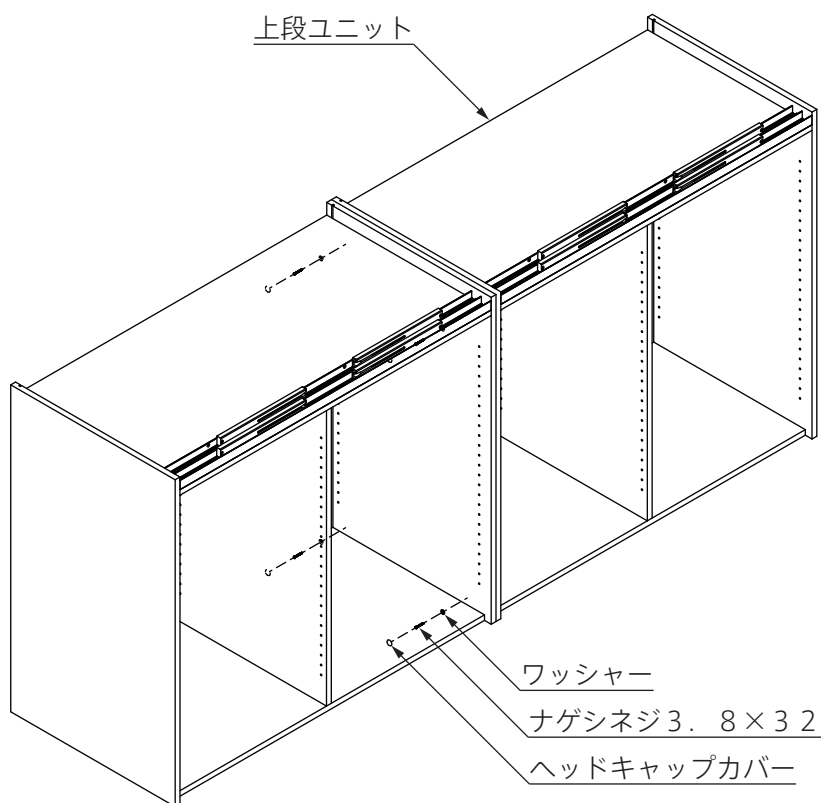
2 上段ユニット固定

- ・上段ユニットと下段ユニットの側板前面を揃え、⊕ナゲシネジ3. 8×32にワッシャーを通して、下段ユニット内側から上段ユニットと固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。
- ※上段ユニットと下段ユニットの間にすき間ができないように連結してください。

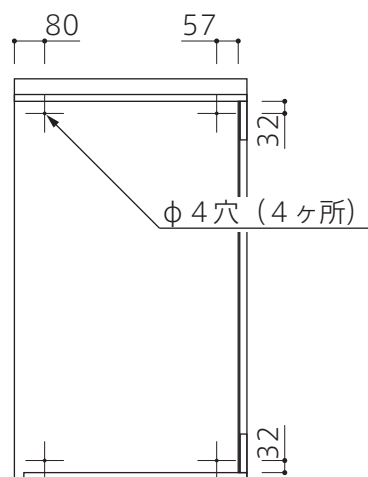


《連結する場合》

- ・ユニットを連結する場合、上段ユニット側板の指定位置に連結穴φ4をあけます。
隣接する上段ユニットの側板前面を揃え、⊕ナゲシネジ3. 8×32にワッシャーを通して、上段ユニット内側から固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。



ユニット連結位置
[側面図]



ユニットの壁面固定



警告

取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



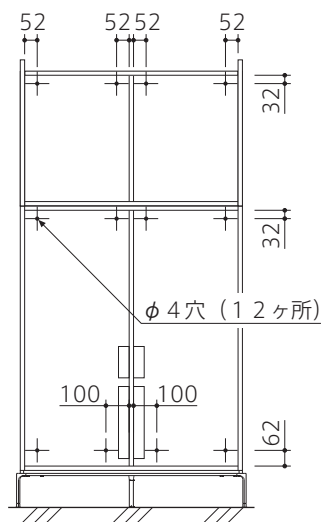
転倒して、ケガをする恐れがあります。

※ユニット本体を固定する前に、ユニットのレベル調整を必ず行ってください。

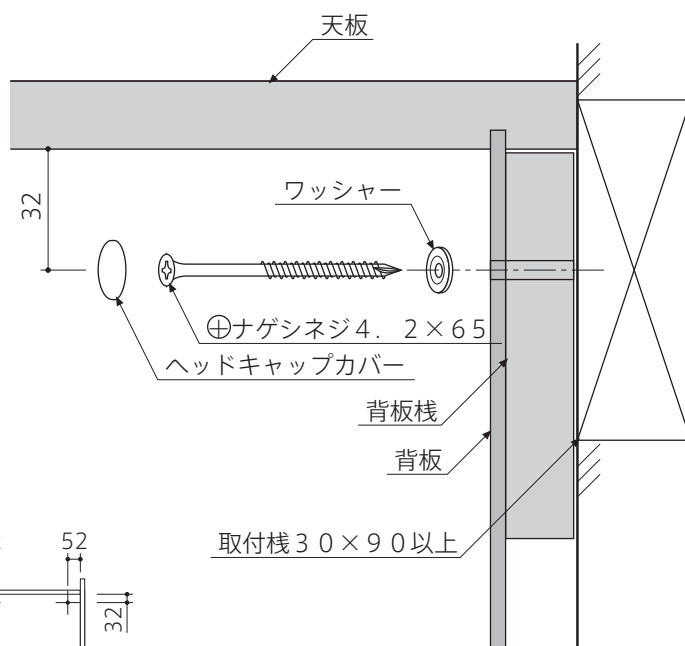
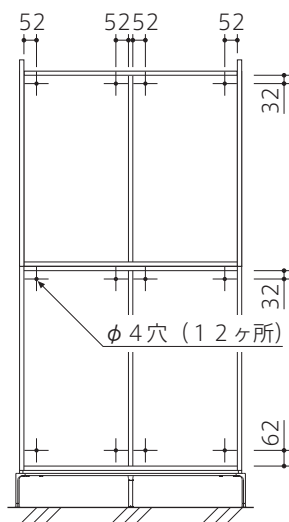
- ・ユニット背板の指定位置に固定穴 $\phi 4$ をあけ、 \oplus ナゲシネジ4. 2×65にワッシャーを通して、壁面に固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

壁面固定位置 [正面図]

家電収納タイプ



棚板タイプ



スリット化粧板の取り付け

◎サイドパネル有りの場合

1 スペースの取り付け

・側板前面下部の I N O A F との間にスペーサー（18mm×16mm×52mm）を取り付けます。

2 スリット化粧板（25mm）の貼り付け

※スリット化粧板を取り付ける前に、取り付ける表面をきれいに拭き取ってください。

- ・スリット化粧板（25mm）を下段ユニットの奥行に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、I N O A F の高さスペーサー側面下端に合わせて貼り付けます。（A-1 部詳細図、スリット化粧板取付順①②）
- ・スリット化粧板（25mm）を側板内側の前端から底板までの長さにカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、側板内側のスペーサー下端に合わせて貼り付けます。（A-1・2 部詳細図、スリット化粧板取付順③④）
- ・スリット化粧板（25mm）を側板木口に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、側板木口のスペーサー下端に合わせて貼り付けます。（A-1・2 部詳細図、スリット化粧板取付順⑤⑥）

※ユニット側面に壁がくる場合は、スリット化粧板（25mm）を壁までのばしてください。

また、壁側の奥行方向のスリット化粧板は不要です。（A-2 部詳細図）

36

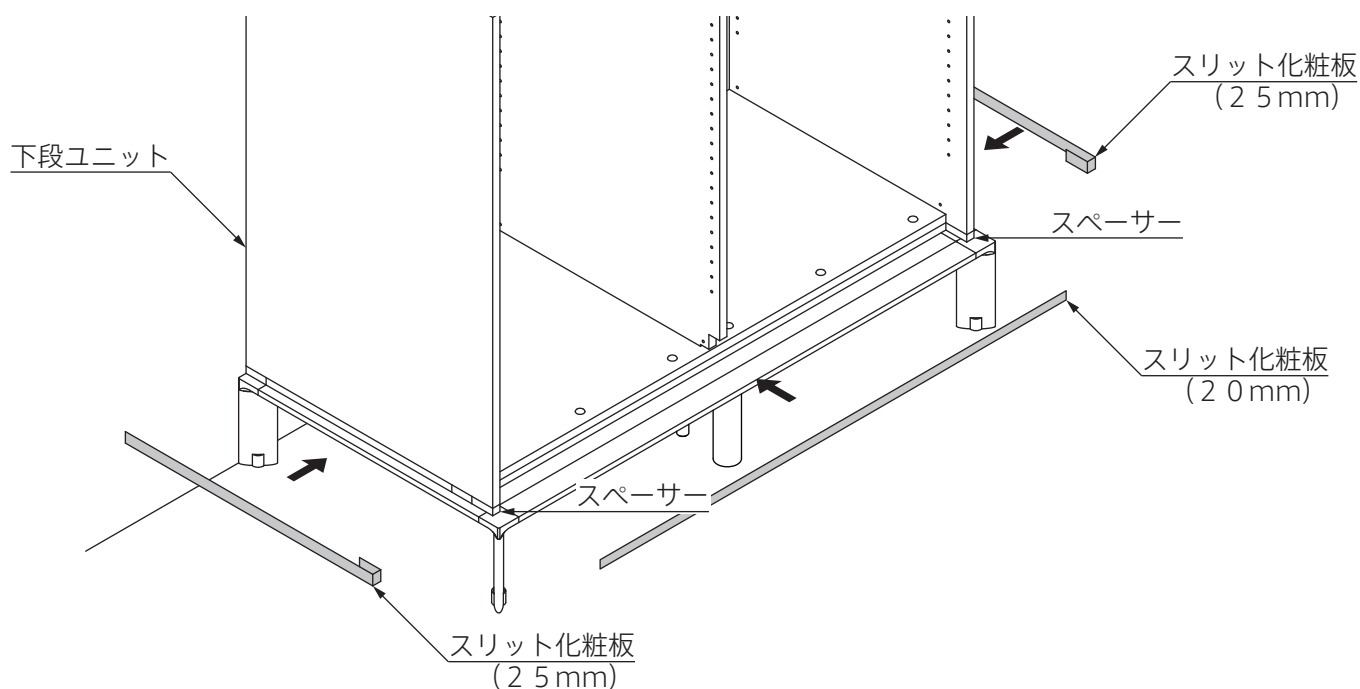
3 スリット化粧板（20mm）の貼り付け

- ・スリット化粧板（20mm）を底板前面に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（20mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、I N O A F の高さスペーサー前面に合わせて貼り付けます。（スリット化粧板取付順⑦）

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

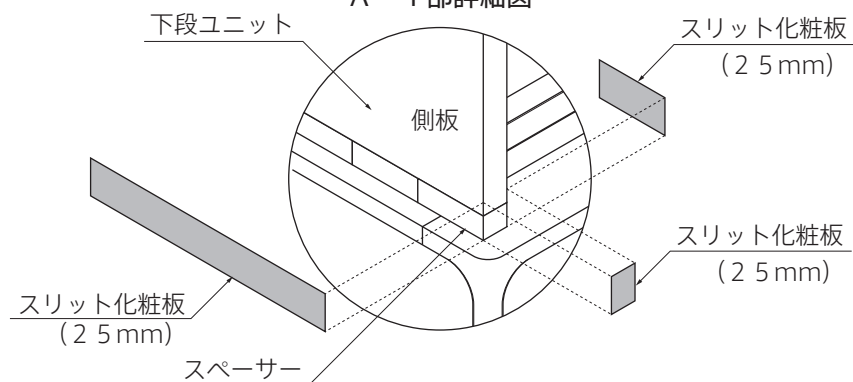
※一度貼ったら剥がしにくいので、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

※貼り付け後は、両面テープがしっかり貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

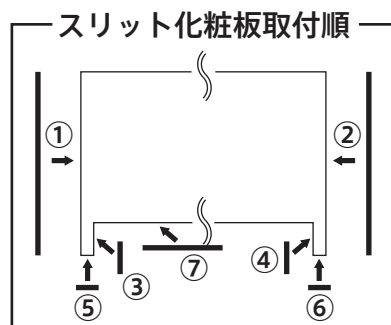


■ユニット側面がオープンの場合

A-1 部詳細図

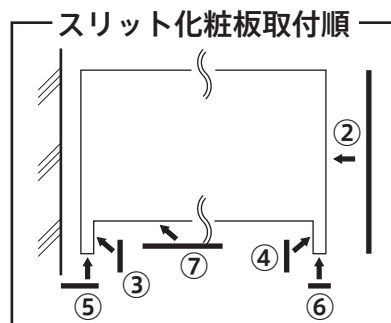
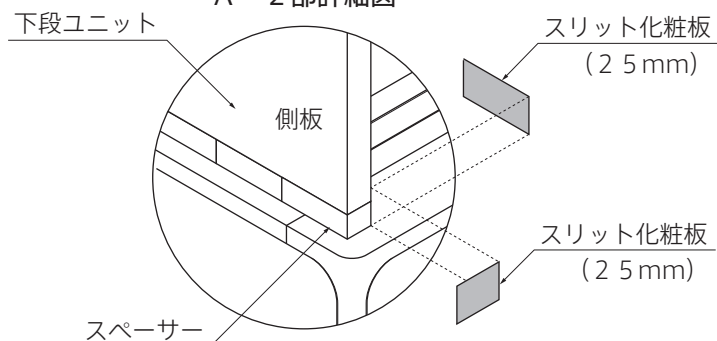


※⑤⑥⑦番目に取り付けるスリット化粧板は、
①②③④番目に取り付けるスリット化粧板
の厚みを考慮してカットしてください。



■ユニット側面に壁がくる場合

A-2 部詳細図



※①は取り付け不要です。

◎サイドパネル無しの場合

1 スペースの取り付け

・側板前面下部の I N O A F との間にスペーサー（12mm×16mm×50mm）を取り付けます。

2 スリット化粧板（15mm）の貼り付け

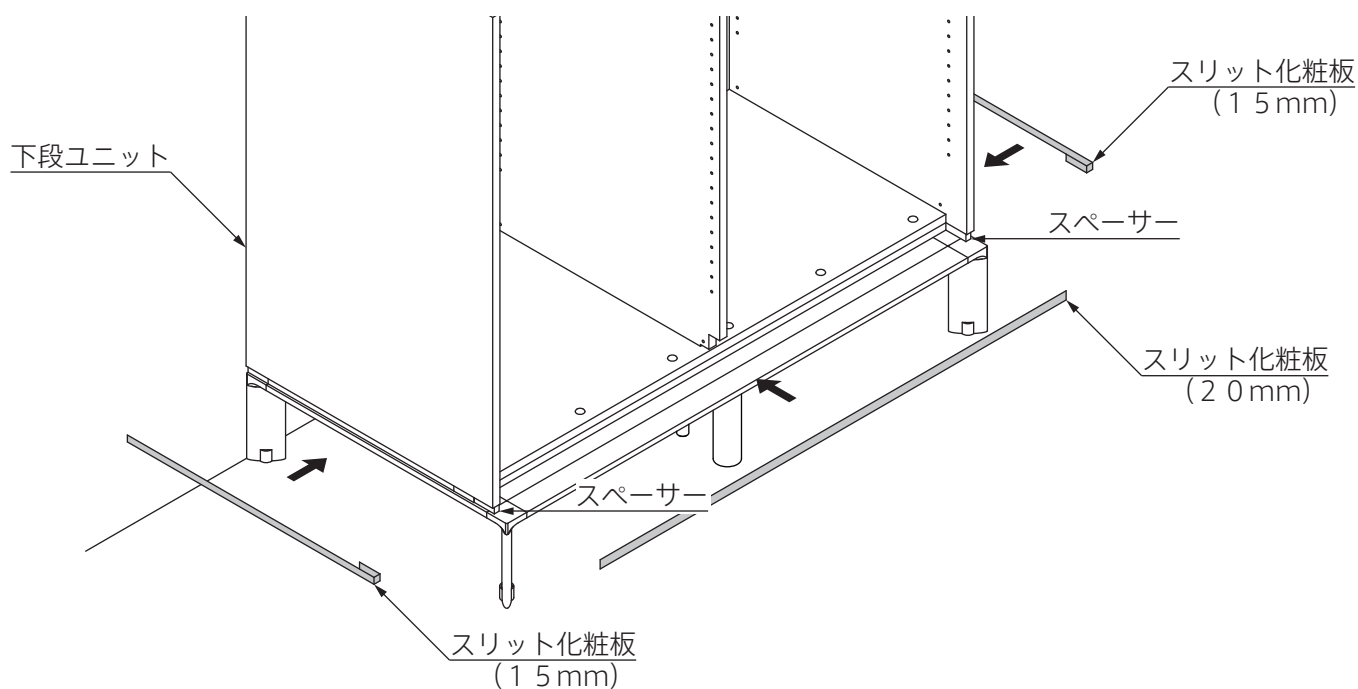
※スリット化粧板を取り付ける前に、取り付ける表面をきれいに拭き取ってください。

- ・スリット化粧板（15mm）を下段ユニットの奥行に合わせてカットします。
 - ・スリット化粧板（15mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、I N O A F の高さスペーサー側面下端に合わせて貼り付けます。（A-1 部詳細図、スリット化粧板取付順①②）
 - ・スリット化粧板（15mm）を側板内側の前端から底板までの長さにカットします。
 - ・スリット化粧板（15mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、側板内側のスペーサー下端に合わせて貼り付けます。（A-1・2 部詳細図、スリット化粧板取付順③④）
 - ・スリット化粧板（15mm）を側板木口に合わせてカットします。
 - ・スリット化粧板（15mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、側板木口のスペーサー下端に合わせて貼り付けます。（A-1・2 部詳細図、スリット化粧板取付順⑤⑥）
- ※ユニット側面に壁がくる場合は、スリット化粧板（15mm）を壁までのぼしてください。また、壁側の奥行方向のスリット化粧板は不要です。（A-2 部詳細図）

38

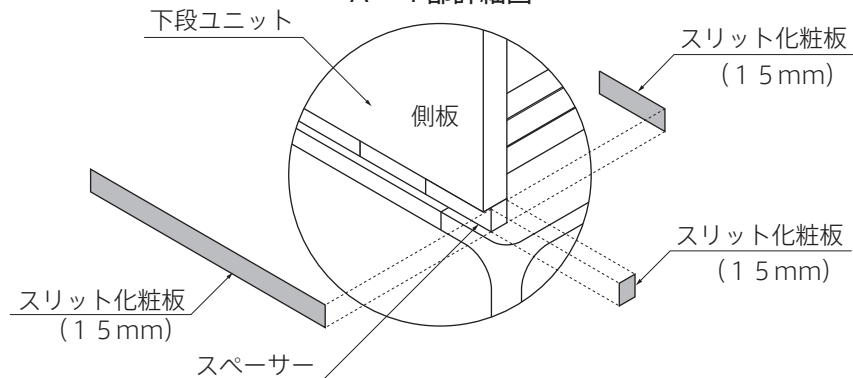
3 スリット化粧板（20mm）の貼り付け

- ・スリット化粧板（20mm）を底板前面に合わせてカットします。
 - ・スリット化粧板（20mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、I N O A F の高さスペーサー前面に合わせて貼り付けます。（スリット化粧板取付順⑦）
- ※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。
※一度貼ったら剥がしにくいので、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。
※貼り付け後は、両面テープがしっかり貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

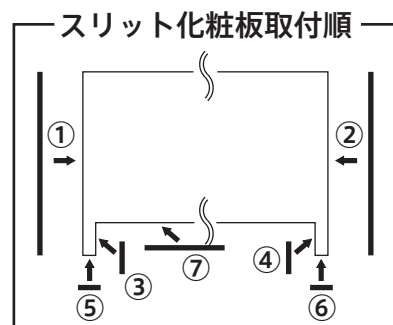


■ユニット側面がオープンの場合

A-1 部詳細図

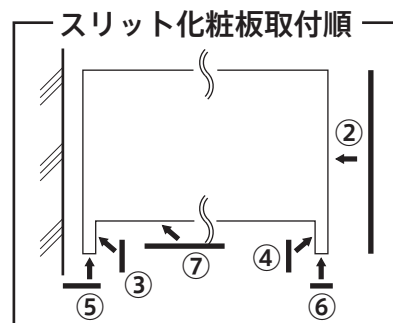
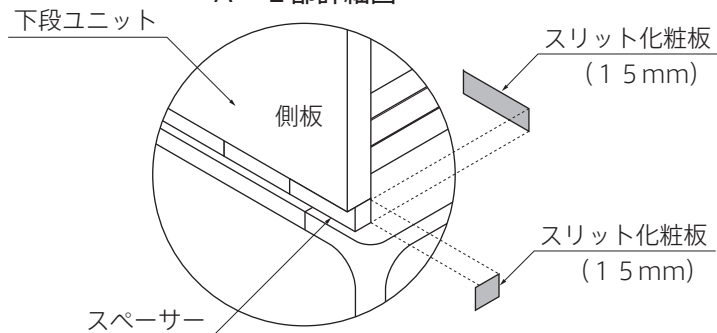


※⑤⑥⑦番目に取り付けるスリット化粧板は、
①②③④番目に取り付けるスリット化粧板
の厚みを考慮してカットしてください。



■ユニット側面に壁がくる場合

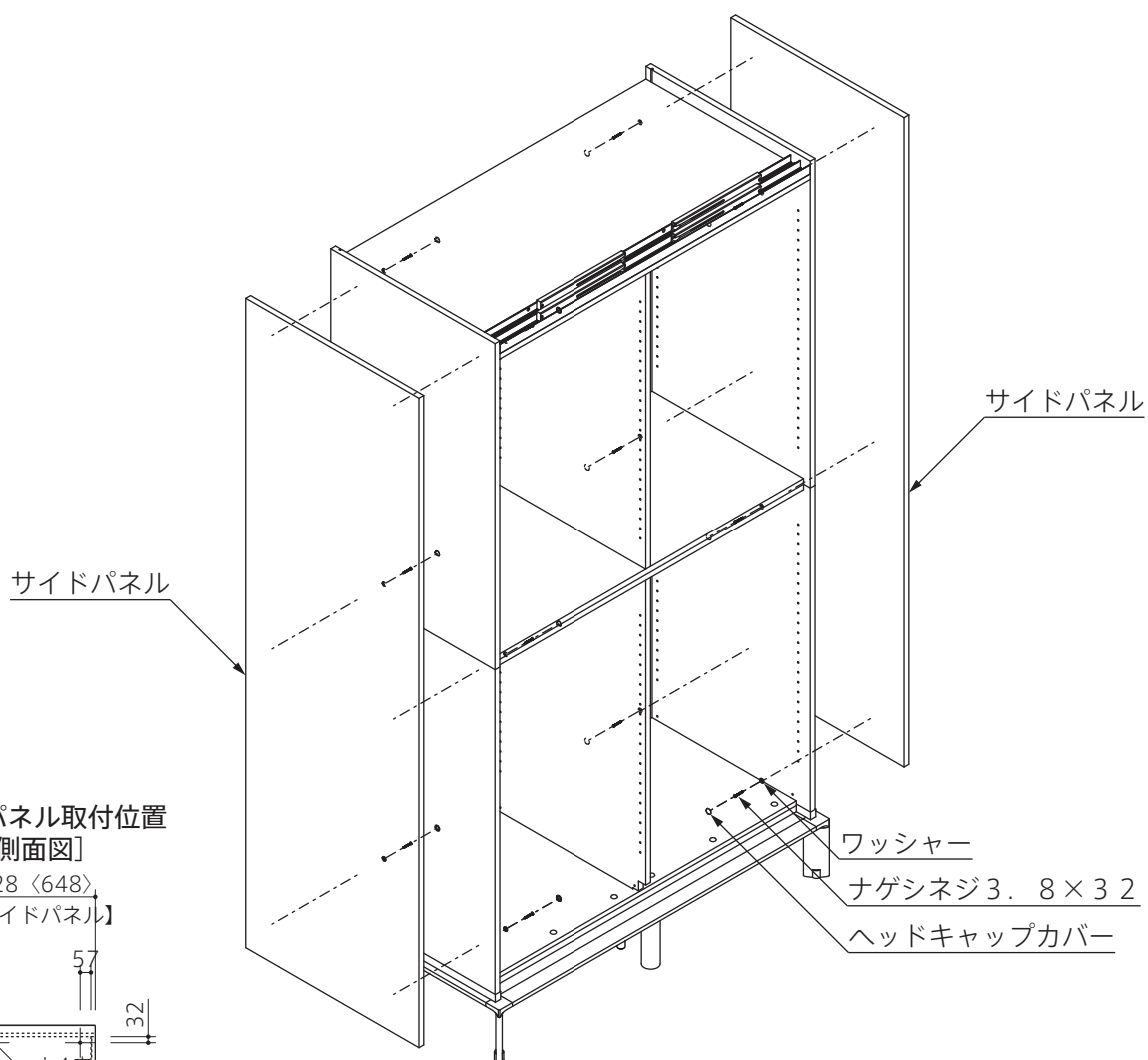
A-2 部詳細図



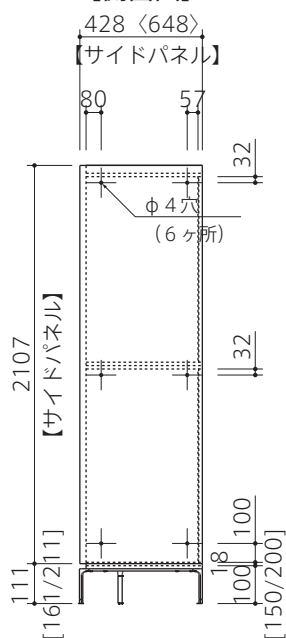
※①は取り付け不要です。

サイドパネルの取り付け

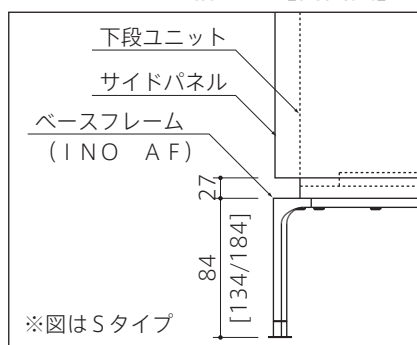
- ※ユニット側面に壁がくる場合、サイドパネルの代わりに薄型化粧フィラーを取り付けます。（次項参照）
- ・ユニット側板の指定位置に取付穴φ4をあけます。
 - ・サイドパネル背面を壁面に合わせ、サイドパネルの下端がI NO AFのベースフレームより、27mmの位置にくるように⊕ナゲシネジ3.8×3.2にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。
- ※I NO AFのベースフレームとサイドパネルの間に27mmのスペーサーをはさむと、取り付けが容易です。



サイドパネル取付位置
【側面図】



サイドパネル納まり【側面図】

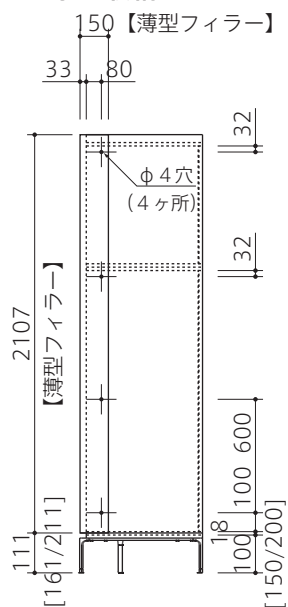


薄型フィラーの取り付け

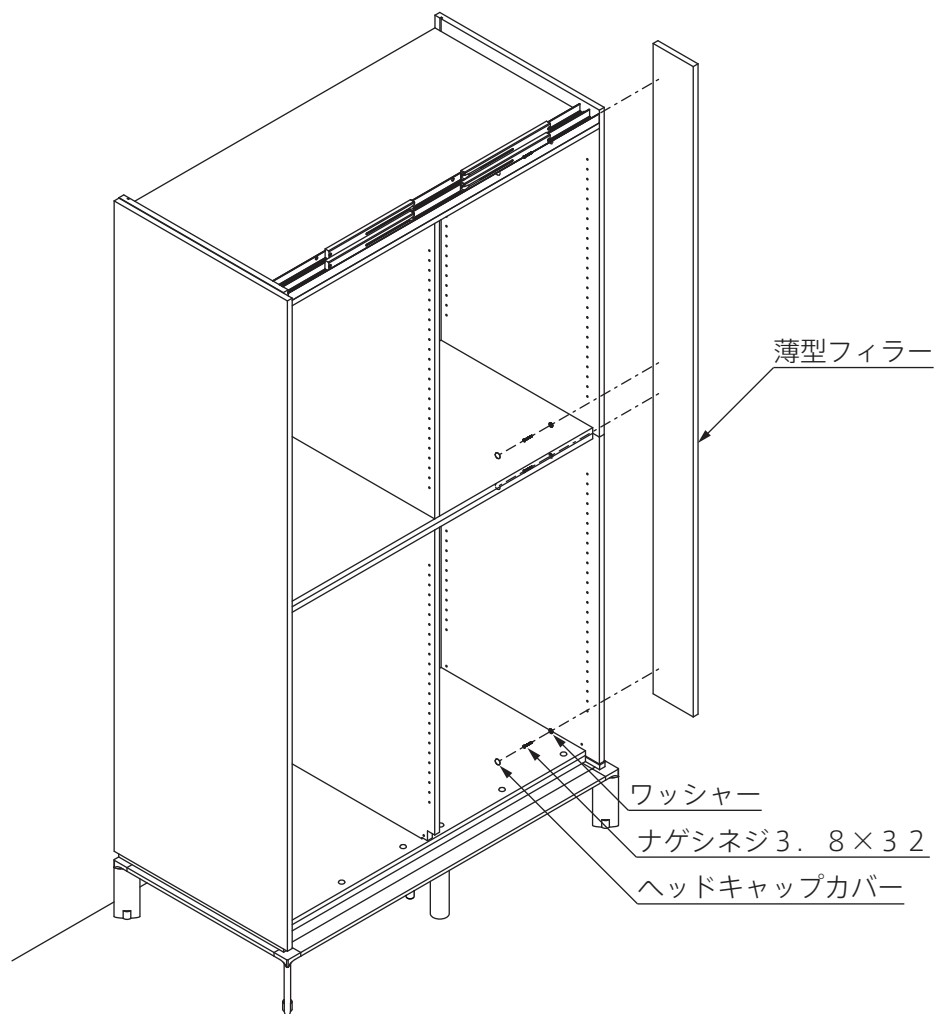
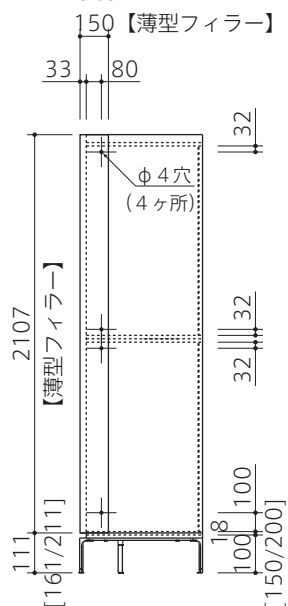
- ・ユニット側板の指定位置に取付穴φ4をあけます。
- ・薄型フィラーをユニット側板より33mm出るように位置を合わせ、薄型フィラーの下端がINO AFのベースフレームより、27mmの位置にくるように⊕ナゲシネジ3.8×3.2にワッシャーを通して固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

薄型フィラー取付位置
【側面図】

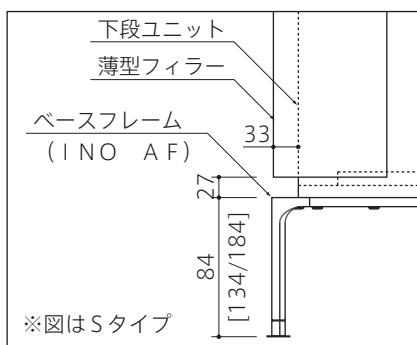
家電収納タイプ



棚板タイプ



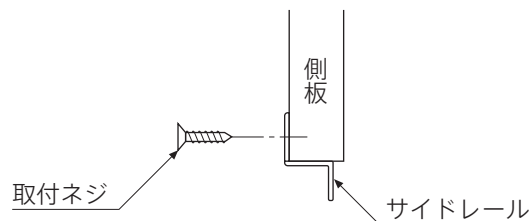
薄型フィラー納まり【側面図】



サイドレールの取り付け

- ・ 右側の側板前面にサイドレールを取り付けます。
サイドレール上端を上段ユニット側板の上端に揃えて、付属の取付ネジにて固定します。

サイドレール取付断面図



上段ユニット

サイドレール

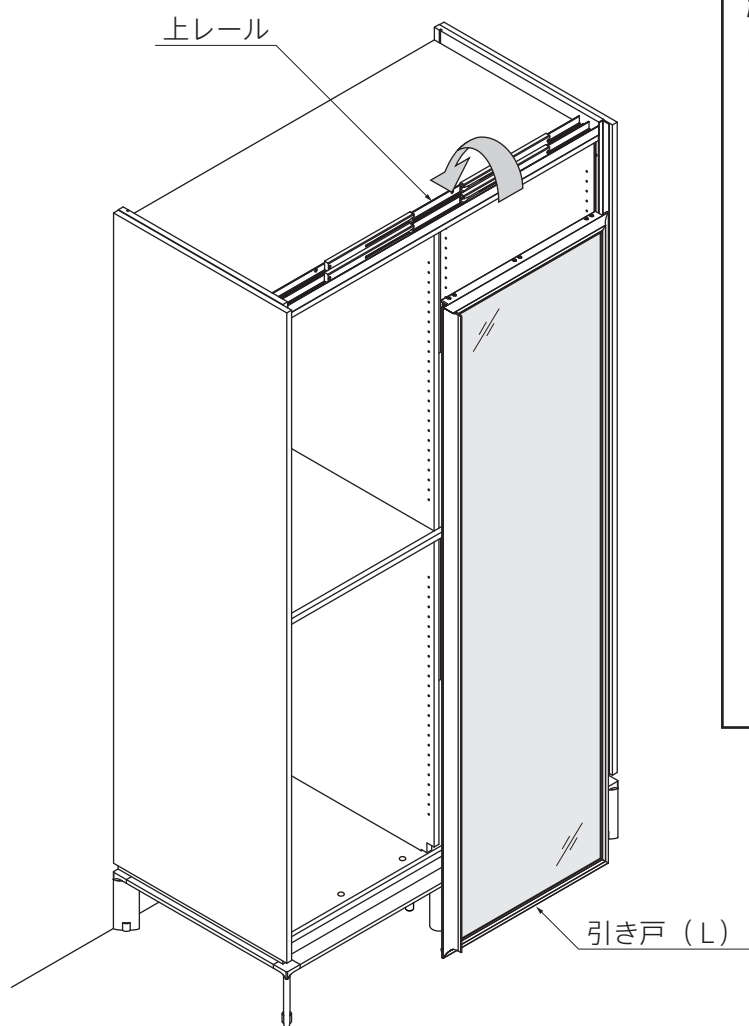
取付ネジ
(6本)

引き戸の取り付け

※引き戸を取り付ける前に、引き戸のフレームの直角、固定ネジのゆるみがないか確認してください。

1 引き戸（L）の取り付け

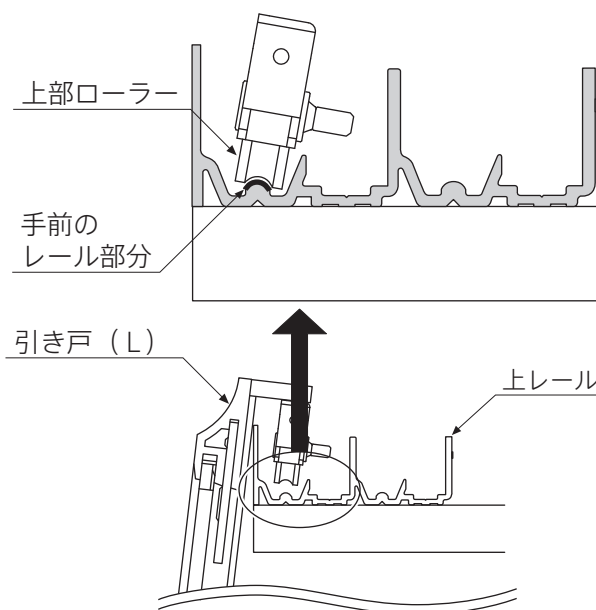
引き戸（L）を持ち上げ、上部ローラーを上レールの手前のレール部分中心にのせます。



注意

引き戸（L）の上部ローラーを上レールにのせる際は、ローラーを傷つけないよう、目視で確認しながら、手前のレール部分にのせてください。

引き戸は質量があるため、取り付けは慎重に行ってください。



2 引き戸 (R) の取り付け

- ①引き戸 (L) を少し左側へ移動させてください。
- ②引き戸 (R) を持ち上げ、引き戸 (L) に被せるようにして上部ローラーを上レールの奥側のレール部分中心にのせます。(図1)
- ③引き戸 (R) の下部を浮かせた状態で、引き戸 (L) を左側へ引き戸 (R) を右側へ移動させ、引き戸が完全に閉まった状態で引き戸 (R) を真っすぐにします。(図2)

図1

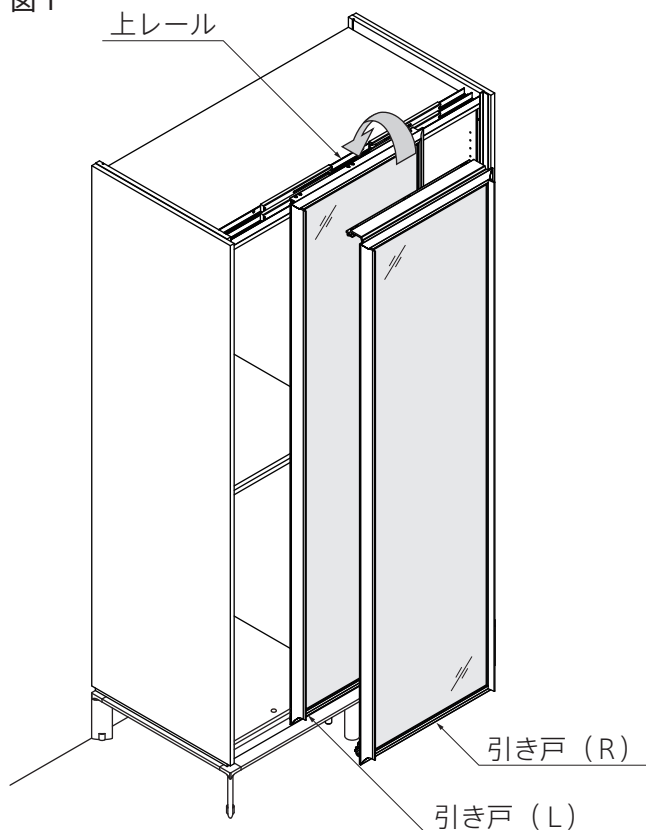
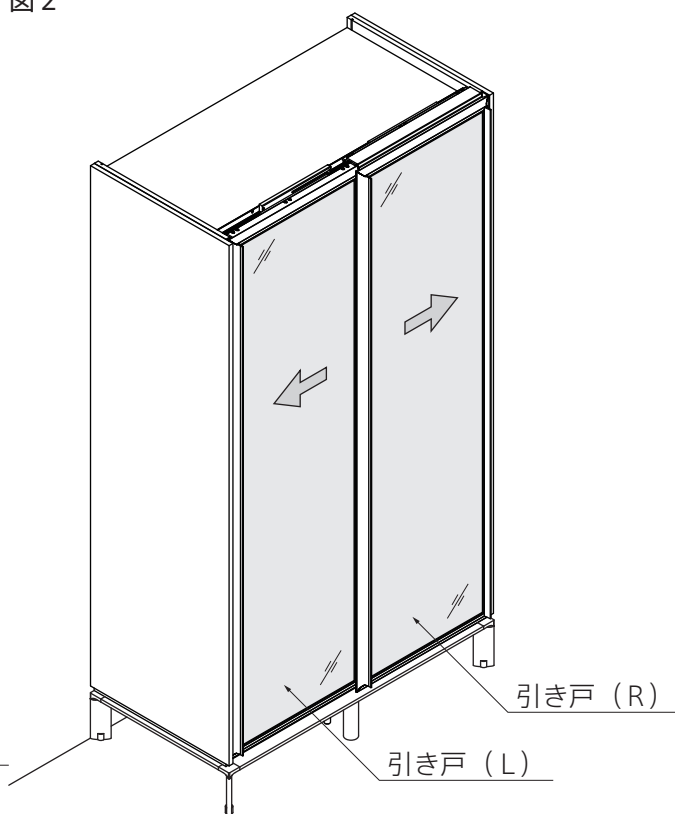


図2

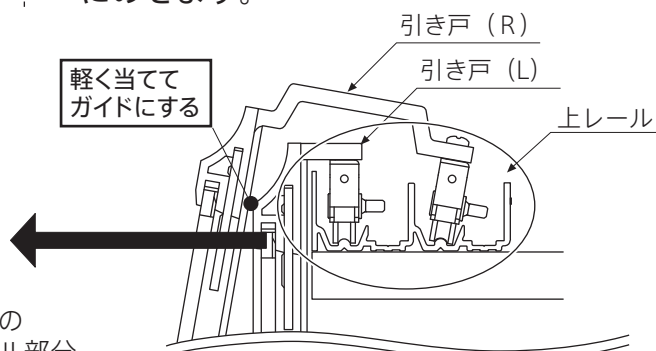
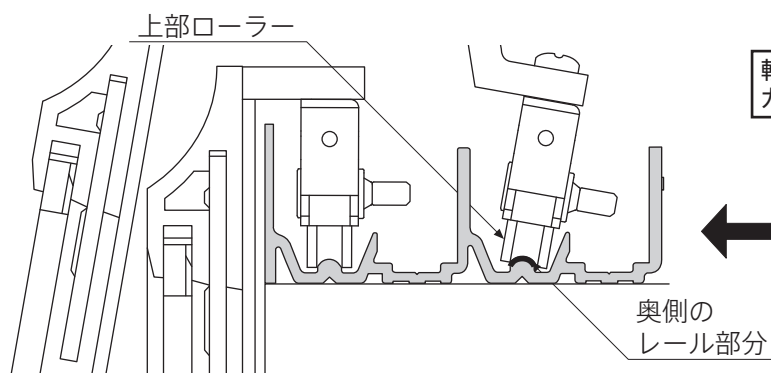


注意

引き戸 (R) の上部ローラーを上レールにのせる際は、ローラーを傷つけないよう、目視で確認しながら、奥側のレール部分にのせてください。引き戸は質量があるため、取り付けは慎重に行ってください。

■アドバイス

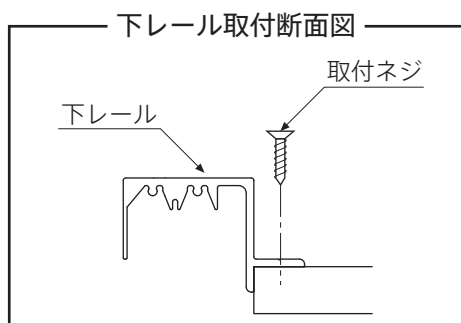
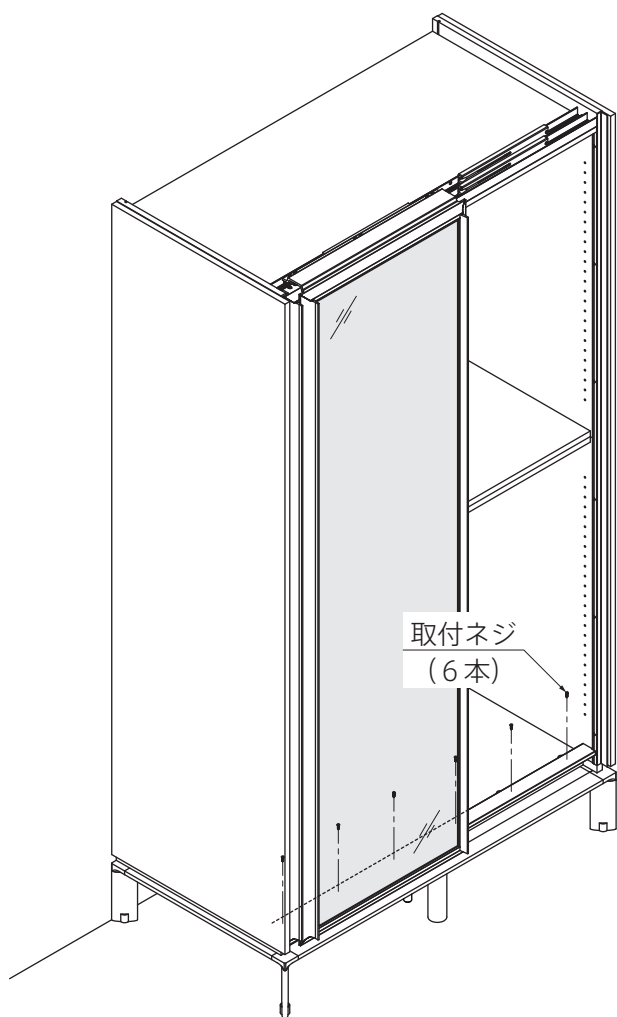
引き戸 (L) を3分の2程度開いた状態で、引き戸 (R) 上部を引き戸 (L) に軽く当ててガイドにしながら、上レールにのせます。



下レールの取り付け

1 下レールを取り付ける。

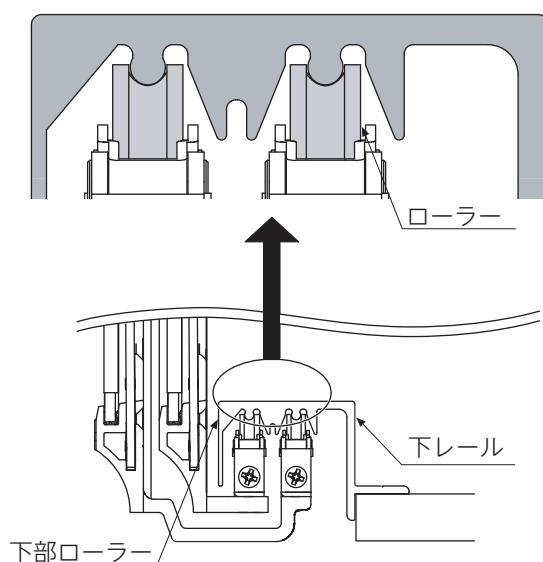
引き戸を左側に寄せ、下レールを右側からスライドさせ、下部ローラーにはめ込みながら付属の取付ネジにて下段ユニットの下端に固定します。



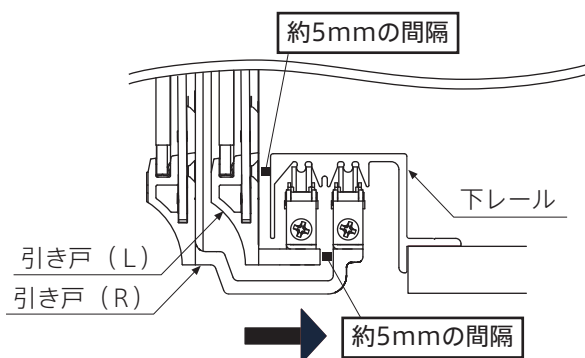
注意

ローラーが下レールの正しい位置にあることを目視で確認してください。

正しい位置にないと、下レールがセットできなかったり、引き戸がスムーズに動きません。



アドバイス



引き戸は重心の関係で矢印の方向へ力が働きます。そのことを考慮して、上図の寸法を目安にローラーの上に下レールをセットしてください。

2

平行を出す。

上部ローラーの左右の調整ネジでそれぞれの引き戸を平行にします。

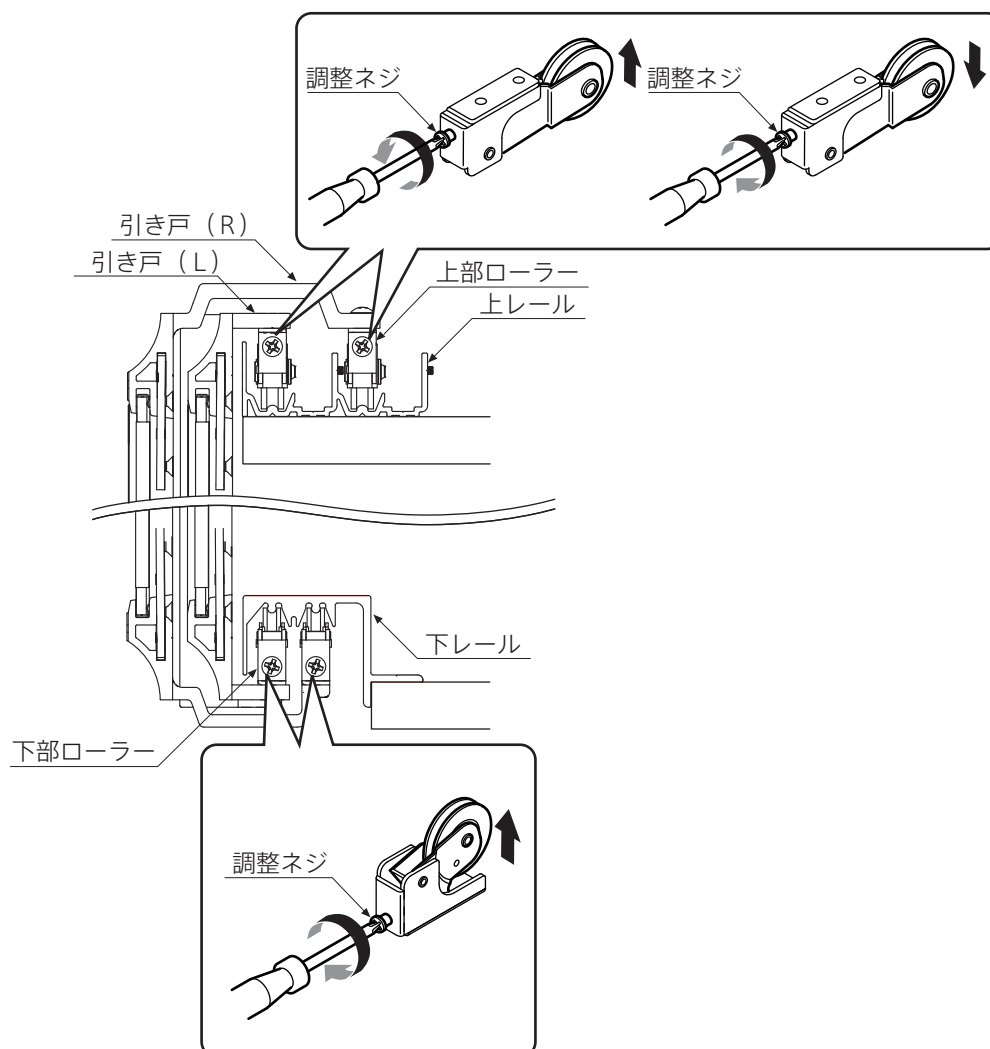
3

引き戸を固定する。

下部ローラーの調整ネジを時計回りに回して引き戸にガタがないように締め付けてください。

※下部ローラーの調整ネジを締め付けすぎないように注意してください。

※下部ローラーを締め付けてもガタがある場合は、上部ローラーの調整ネジで引き戸を上げてください。



引き戸の上下方向調整

1 下部ローラーの調整ネジをゆるめる。

・下部ローラー（左右2ヶ所）の調整ネジを反時計回りに回してゆるめてください。（図2）

※上部、下部ローラーを調整際にはフレキシブルドライバーをご使用ください。

フレキシブルドライバー



2 上部ローラーの調整ネジで引き戸の上下方向を調整する。

・上部ローラーの調整ネジを回して調整し、引き戸の水平を出してください。（図1）

3 下部ローラーの調整ネジを締める。

・下部ローラーの調整ネジを時計回りに回してローラーとレールに係る程度に調整してください。（図2）

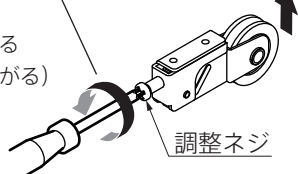
※下部ローラーの調整ネジを締め付けすぎないように注意してください。

上部ローラー

図1 上部ローラー

反時計回り

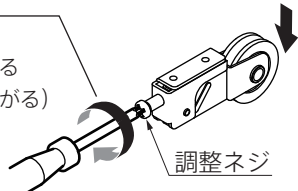
・引き戸が下がる
（ローラーは上がる）



調整ネジ

時計回り

・引き戸が上がる
（ローラーは下がる）

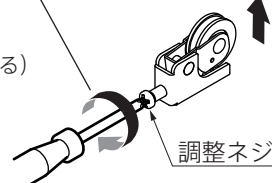


調整ネジ

図2 下部ローラー

時計回り

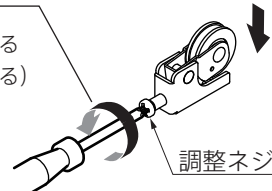
・レールに近づく
（ローラーは上がる）



調整ネジ

反時計回り

・レールから離れる
（ローラーは下がる）



調整ネジ

下部ローラー

【引き戸の調整時の注意】

※上部ローラーの調整ネジを反時計回りに回してゆるめすぎるとローラーが引き戸と接触し、動かなくなります。

引き戸の前後方向調整

※天井高さが低い場合、引き戸の前後方向調整にはスタビードライバー等をご使用ください。

1 上部ローラーの前後調整ネジをゆるめる。

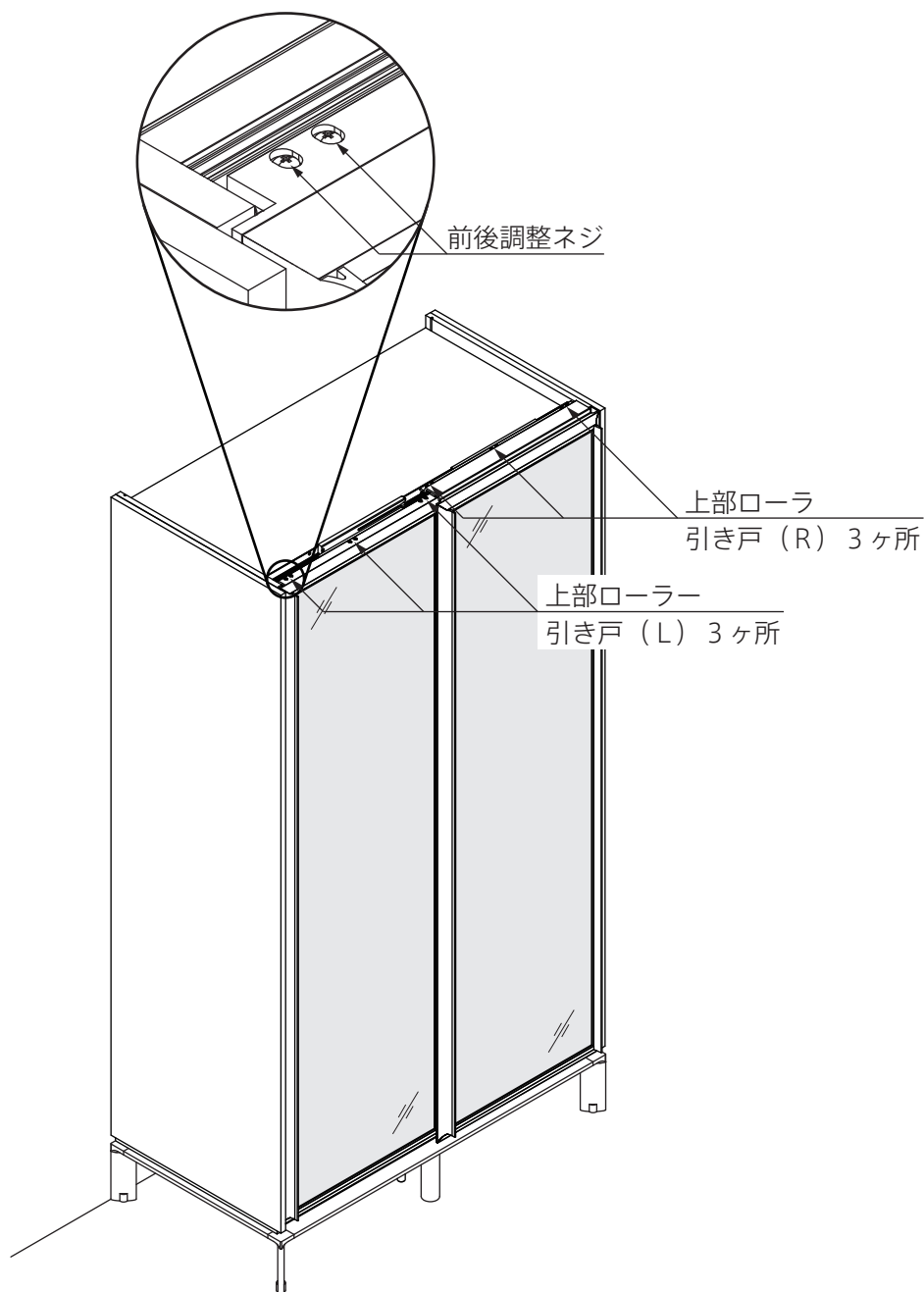
※各引き戸ごとに調整してください。

2 引き戸の前後方向を調整する。

※各引き戸の上部ローラーの前後位置が3ヶ所同じになるようにしてください。

3 上部ローラーの前後調整ネジを締める。

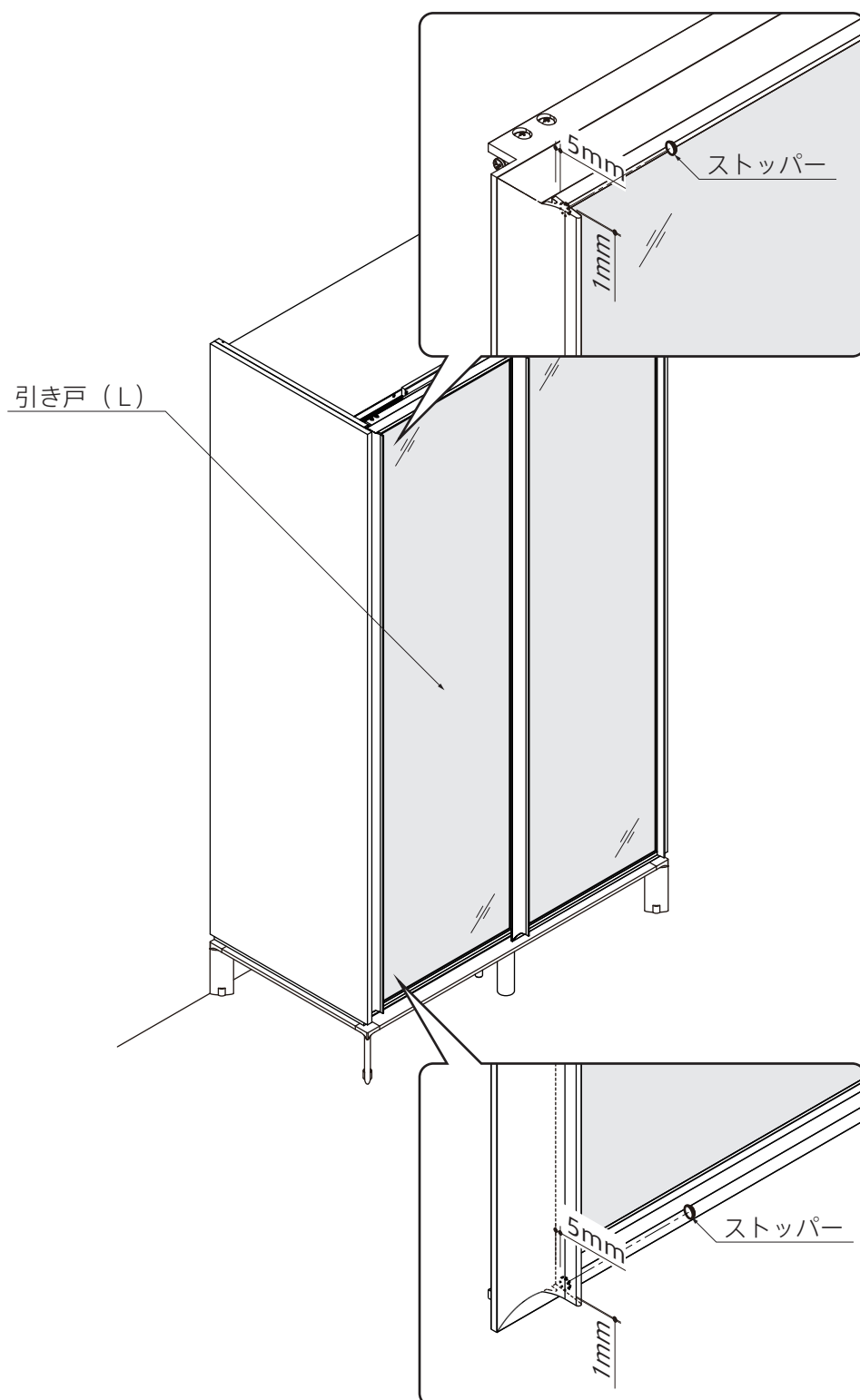
※ネジを締める際にローラーが動かないように注意してください。



ストッパーの取り付け

※ストッパーを取り付ける前に、取り付ける表面をきれいに拭き取ってください。

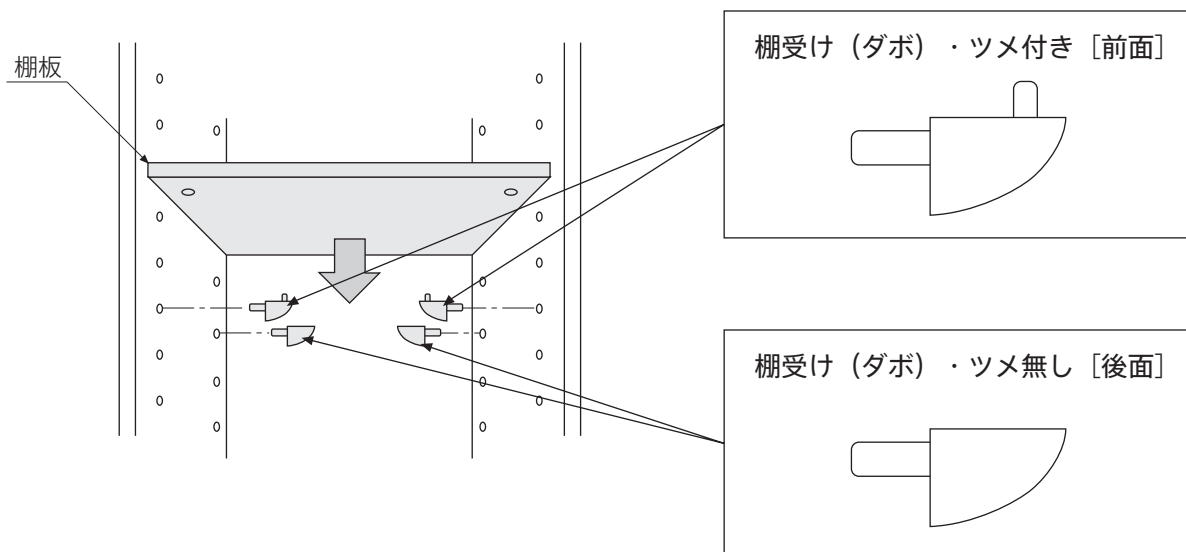
- ・ストッパーのはく離紙を剥がし、「引き戸（R）が当たる部分」の引き戸（L）の引手に貼り付けてください。



内装パーツの取り付け

1 棚板の取り付け（家電収納タイプ、棚板タイプ共通）

- ①側板の任意の穴位置に棚受け（ダボ）を差し込みます。
取付詳細は下図のように前面にツメ付きダボ、後面にツメ無しダボを差し込んでください。
- ②棚板を棚受け（ダボ）にのせます。
- ③棚板は自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。



50

2 内装引出しの取り付け（浅型・深型共通） （家電収納タイプの場合）

- ①内装引出しレールをいっぱいまで引出してください。（図1）
- ②内装引出しレールの上に内装引出しをのせてください。（図2）
- ③内装引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、内装引出しレールに固定します。（図3）

図1

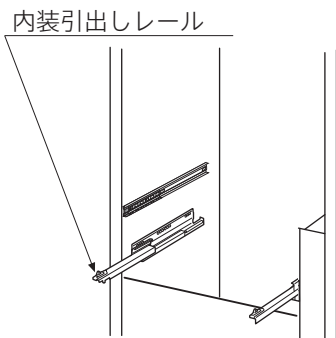


図2

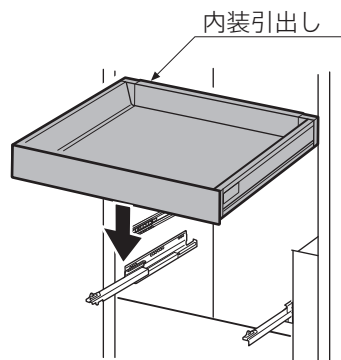
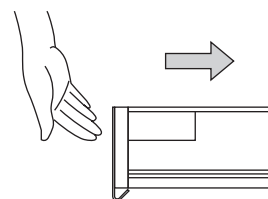
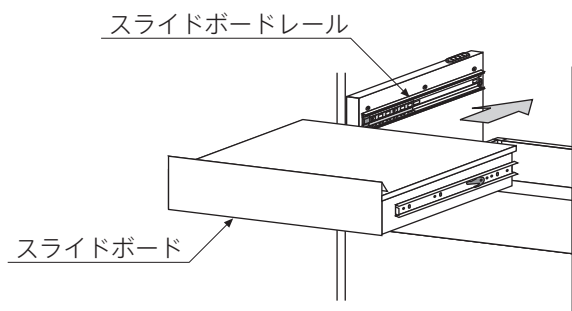


図3



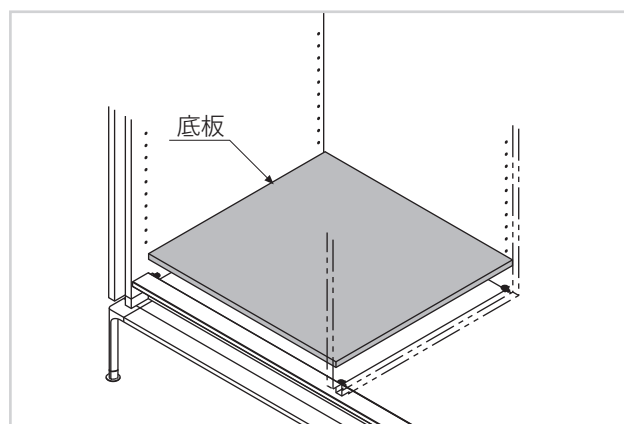
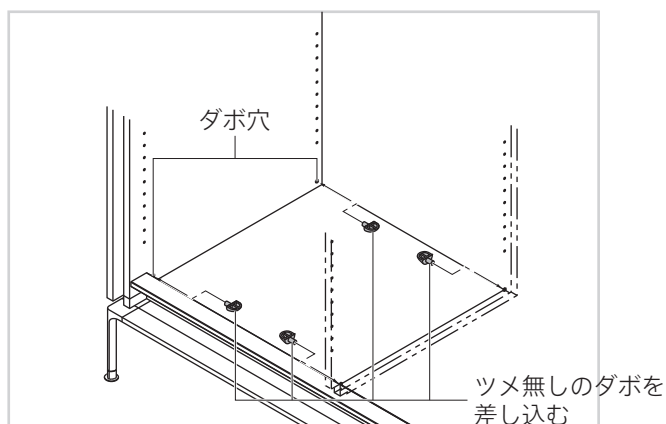
3 スライドボードの取り付け（家電収納タイプの場合）

- ・スライドボード本体のレールをスライドボードレールに差し込むようにスライドさせて、奥までしっかり押し込んで固定します。



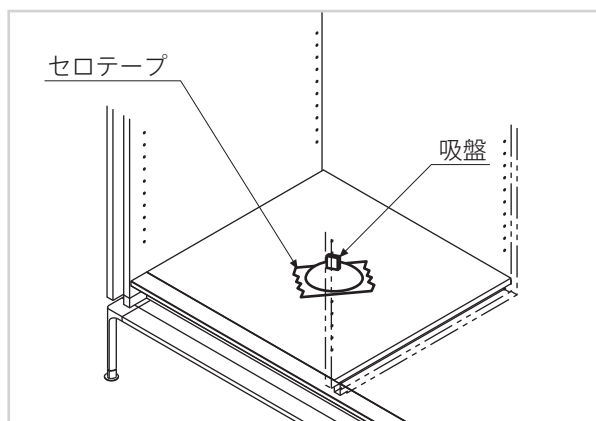
4 底板の取り付け（家電収納タイプD650の場合を除く）

- ①下段ユニットの最下のダボ穴にツメ無しのダボを差し込みます。
※棚板とは違い、全てのダボ穴にツメ無しダボを差し込んでください。
- ②底板を棚受け（ダボ）にのせます。



51

底板を取り外す場合は、底板にセロテープ等を貼って、吸盤で持ち上げてください。

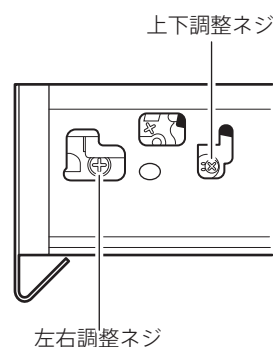
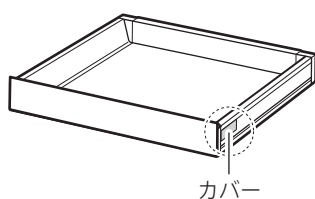


内装引出し前板の調整（家電収納タイプの場合）

内装引出し前板は調整することができます。

1 カバーを取り外す

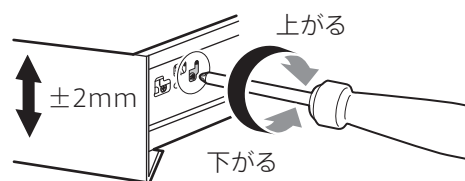
内装引出し側板の左右外側に付いているカバーを取り外します。



2 調整を行う

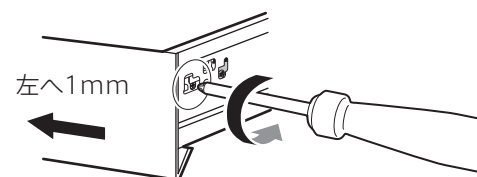
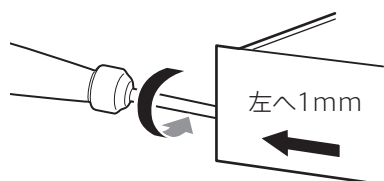
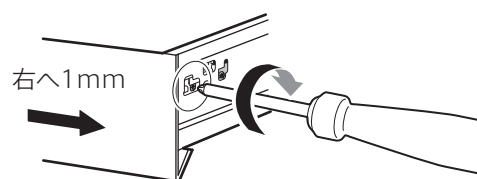
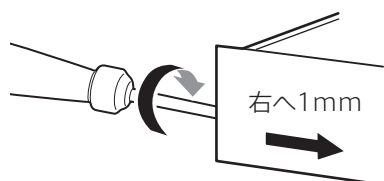
■上下方向

上下調整ネジで上下方向の調整を行います。
± 2 mm調整できます。



■左右方向

左右調整ネジで左右方向の調整を行います。
± 1 mm調整できます。



3 カバーを取り付ける

取付・設置後の確認

- ・引き戸の目地を確認してください。
- ・上下部ローラーが上下レールにはまっているか確認してください。
- ・引き戸の開閉具合を確認してください。

取付・設置後の点検・清掃

- ① 「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- ② 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いか調べてください。

ホルムアルデヒド発散区分

ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上部分および下地部分とも	F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による	
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください	
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル（P B）	F☆☆☆☆
	M D F	F☆☆☆☆
	合板	F☆☆☆☆
	接着剤	F☆☆☆☆

53

VOC 放散性能

V O C 放散性能	4 V O C 基準適合（木質建材）
表示ルール	「住宅部品V O C 表示ガイドライン」による

※ 4 V O C とは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トーヨーキッチンカスタマーサービス www.tk-maintenance.com

トーヨーキッチンカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050 - 3852 - 2392 〈受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)〉

メール tk@toyo1.toyokitchen.co.jp

F A X 0575 - 23 - 1262

携帯からでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

